

## 根拠資料一覧表

- 資料 01 平成 29 年度 和歌山県立医科大学教育研究開発センター一部会委員（医学部委員会）名簿
- 資料 02 平成 29 年度 教育研究審議会委員名簿
- 資料 03 平成 29 年度 和歌山県公立大学法人評価委員会委員名簿
- 資料 04a 教育研究開発センター ホームページ（カリキュラム専門部会）
- 資料 04b 教育研究開発センター ホームページ（教育要項）
- 資料 05 平成 29 年度・平成 30 年度 1～3 年生、5,6 年生カリキュラム
- 資料 06 平成 30 年度第 1 回カリキュラム専門部会 議事録
- 資料 07a 評価シート様式
- 資料 07b 平成 29 年度 教育評価部会 教員の授業相互評価 実績一覧
- 資料 08 平成 29 年度 シラバス「医学英語、免疫と生体防御、遺伝子と遺伝子異常」
- 資料 09 平成 29 年度・平成 30 年度 臨床実習要綱別冊（選択制） 臨床実習日程
- 資料 10 現 6 年生への選択実習の希望調査票
- 資料 11 平成 29 年度第 2 回カリキュラム専門部会 議事録
- 資料 12 臨床ディレクター会議への提案議題（放射線科）
- 資料 13 mini-CEX のオンラインフォームについて
- 資料 14 学生カルテ操作演習マニュアル
- 資料 15 平成 29 年度第 3 回・第 5 回教務学生委員会 議事録
- 資料 16 担任制について
- 資料 17 学生相談室の配置図
- 資料 18 平成 27 年度～平成 30 年度医学部教員男女別人数
- 資料 19 和歌山県立医科大学教員選考規程
- 資料 20 ワークライフバランス支援センター ホームページ
- 資料 21 平成 29 年度 FD 研修会一覧
- 資料 22 津波避難経路図
- 資料 23 スキルラボ職員 名簿
- 資料 24 学内ページ（E ラーニングシステム）
- 資料 25 平成 30 年度第 1 回基礎教授懇談会 議事録
- 資料 26 基礎配属報告会について
- 資料 27 該当教員の教育研究開発センター兼務発令辞令
- 資料 28 Certificate for Medical Clerkship
- 資料 29 平成 30 年度第 4 回情報基盤センター検討ワーキング 資料
- 資料 30 平成 29 年度 臨床実習要綱別冊（選択制） 紀北分院（総合診療科）
- 資料 31 紀北分院 外来担当医表
- 資料 32 授業評価に係る改善計画等について
- 資料 33 平成 30 年度 シラバス「学生による授業評価について」
- 資料 34 医学部教授会広報（平成 30 年 4 月 10 日開催）
- 資料 35 平成 28 年度年間事業実績報告書「開催した部会一覧」
- 資料 36 教育研究開発センター ホームページ（部会・委員会）

## 平成29年度 教育研究開発センター

## 各部会部会長・副部会長・部会委員（医学部委員会）名簿

※ 任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）

## 【カリキュラム専門部会】

部会長	村田 頭也	(教育研究開発センター長) (医学部委員会委員長)
副部会長	志波 充	(保健看護学部長)
	羽野 卓三	(学長特命教員 (特別顧問))
	池田 裕明	(教養・医学教育大講座 教授)
	平井 秀一	(教養・医学教育大講座 教授)
	森川 吉博	(解剖学(2) 教授)
	改正 恒康	(生体調節機構研究部 教授)
	山田 源	(遺伝子制御学研究部 教授)
	赤阪 隆史	(内科学(4) 教授)
	伊東 秀文	(神経内科学 教授)
	鈴木 啓之	(小児科学 教授)
	中尾 直之	(脳神経外科学 教授)
	井筒 一彦	(産科婦人科学 教授)
	佐々木 秀彦	(紀北分院総合内科学 教授)
	上野 雅巳	(地域医療支援センター長 教授)
	川邊 哲也	(教育研究開発センター 副センター長)

学生委員 2名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。  
 島佳弘 (医学部4年生)  
 西松謙一 (医学部4年生)

## 【臨床技能教育部会】

部会長	加藤 正哉	(救急・集中治療医学 教授) (医学部委員会委員長・OSCE実施責任者)
副部会長	志波 充	(保健看護学部長)
◎OSCE実施委員		
	村田 頭也	(教育研究開発センター長)
	園村 哲郎	(放射線医学 教授)
	古田 浩人	(内科学(1) 准教授)
	久保 隆史	(内科学(4) 准教授)
	柑本 康夫	(泌尿器科学 准教授)
	尾浦 正二	(外科学(1) 准教授)
	水本 一弘	(医療安全推進部 准教授)
	羽野 卓三	(学長特命教員 (特別顧問))
	田中 才一	(眼科学 講師)
◎CBT実施委員		
	村田 晋一	(人体病理学 教授) (CBT実施責任者)
	川邊 哲也	(教育研究開発センター 副センター長) (OSCE実施委員)
	村田 頭也	(教育研究開発センター長)
	羽野 卓三	(学長特命教員 (特別顧問))
	竹下 達也	(公衆衛生学 教授)
	西尾 真智子	(微生物学 教授)
	入江 真行	(医学医療情報研究部 准教授)
	加藤 順	(内科学(2) 准教授)
	中西 正典	(内科学(3) 准教授)
	鵜飼 聡	(神経精神医学 准教授)
	西南 理宏	(病態栄養治療部 准教授)
	佐和子	(総合周産期母子医療センター 准教授)

【FD部会】

部会長	志波	充	(保健看護学部長)
副部会長	村田	頭也	(教育研究開発センター長)
	井原	義人	(学生部長)
	池田	裕明	(入試・教育センター長)
	上山	敬司	(解剖学(1)教授)
	藤井	隆夫	(リウマチ・膠原病科学 教授)
	川邊	哲也	(教育研究開発センター 副センター長)
	羽野	卓三	(学長特命教員 (特別顧問))

【入試制度検討部会】

部会長	志波	充	(保健看護学部長)
副部会長	池田	裕明	(教養・医学教育大講座 教授) (医学部委員会委員長)
	村田	頭也	(教育研究開発センター長)
	羽野	卓三	(学長特命教員 (特別顧問))
	岩橋	秀夫	(教養・医学教育大講座 教授)
	金桶	吉起	(生理学(1)教授)
	岸岡	史郎	(薬理学 教授)
	竹下	達也	(公衆衛生学 教授)
	川邊	哲也	(教育研究開発センター 副センター長)

【教育評価部会】

部会長	村田	頭也	(教育研究開発センター長)	(医学部委員会委員長)
副部会長	志波	充	(保健看護学部長)	
	羽野	卓三	(学長特命教員 (特別顧問))	
	岩橋	秀夫	(教養・医学教育大講座 教授)	
	池田	裕明	(教養・医学教育大講座 教授)	
	村田	晋一	(人体病理学 教授)	
	山本	信之	(内科学(3) 教授)	
	伊東	秀文	(神経内科学 教授)	
	川邊	哲也	(教育研究開発センター 副センター長)	
	藤本	眞一	(奈良県立医科大学教育開発センター 教授)	

学生委員 1名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。  
島佳弘 (医学部4年生)

【自己評価委員会】

委員長	村垣	泰光	(医学部長)
	志波	充	(保健看護学部長)
	池田	裕明	(入試・教育センター長)
	上山	裕機	(病院長)
	井原	義人	(学生部長)
	川邊	哲也	(教育研究開発センター 副センター長)
	藤本	眞一	(奈良県立医科大学教育開発センター教授)
	大江	嘉幸	(前和歌山市教育委員会教育長)

【運営委員会】

委員長 教育研究開発センター長  
教育研究開発センター 副センター長  
医学部長  
保健看護学部長  
学生部長  
入試・教育センター長  
事務局長

## 平成29年度教育研究審議会委員

役 職	氏 名	備 考
学 長	岡村 吉隆	理事長
2号委員	幸前 裕之	副理事長
3号委員	出口 博之	事務局長
5号委員	村垣 泰光	医学部長
5号委員	志波 充	保健看護学部長
6号委員	山上 裕機	附属病院長
6号委員	伊東 秀文	産官学連携推進本部長
6号委員	井原 義人	学生部長
6号委員	池田 裕明	入試・教育センター長
6号委員	近藤 稔和	図書館長
6号委員	加藤 正哉	地域・国際貢献推進本部長
7号委員	山本 信之	内科学第3講座教授
7号委員	赤阪 隆史	内科学第4講座教授
7号委員	内海 みよ子	保健看護学部教授
8号委員	足立 基浩	学外委員（和歌山大学教授）

## 平成29年度 和歌山県公立大学法人評価委員会 委員名簿

## 1 和歌山県公立大学法人評価委員会委員(五十音順)

○ 委員長

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所教授 東京大学大学院医学系研究科分子神経学特任教授	○ <small>つじ</small> 辻 <small>しょうじ</small> 省次
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医療経済学分野教授	<small>かわ</small> 川 <small>ぶち</small> 渕 <small>こう</small> 孝 <small>いち</small> 一
東京医療保健大学副学長 公益社団法人日本看護協会前会長	<small>さか</small> 坂 <small>もと</small> 本 <small>す</small> すが
静岡県立こども病院名誉院長・参与 市立岸和田病院顧問	<small>せ</small> 瀬 <small>と</small> 戸 <small>し</small> 嗣 <small>ろう</small> 郎
白浜はまゆう病院院長	<small>たに</small> 谷 <small>ぐち</small> 口 <small>ゆう</small> 友 <small>し</small> 志
兵庫医科大学客員教授	<small>なか</small> 中 <small>にし</small> 西 <small>けん</small> 憲 <small>じ</small> 司



部会・委員会

教育評価部会

入試制度検討部会

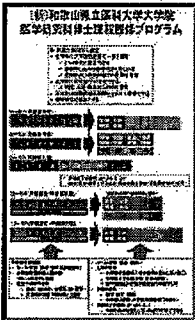
カリキュラム専門部会

臨床技能教育部会

FD部会

和歌山SPの会

和歌山県立医科大  
学  
大学院  
医学研究科博士課  
程  
履修プログラム



カリキュラム専門部会

HOME>部会・委員会>カリキュラム専門部会

[教育評価部会トップ](#) [活動報告](#) [教育要項](#) [規程・運営要項](#) [カリキュラムの変更点](#)

▶カリキュラム専門部会

和歌山県立医科大学教育研究開発センターのカリキュラム専門部会は、医学部および保健看護学部のカリキュラムに関わる研究、開発および企画を行う機関です。

次の事項について審議しています。

- ① カリキュラムおよび実施体制に関すること。
- ② カリキュラムの編成、改善および開発に関すること。
- ③ カリキュラム全般に関すること。
- ④ その他必要事項に関すること。

お知らせ

■YAHGEEを用いた学生カルテシステムの使い方

マニュアルをご覧ください。※学内のみ閲覧可能です。

■症例検討セミナー

和歌山県立医科大学では医学部5年生のカリキュラムにおいて、症例を通して、自ら資料を検討し、疾患の病態、診断と治療を学習する事を学習目標として、チュートリアル方式による学習を行っています。

この中で、実際に取り扱った症例について学内に公開します。

[症例検討セミナー資料へ▶](#)

※症例検討セミナー資料は学内のパソコンからしか閲覧できません。

[▲ページTOPへ](#)

部会・委員会
教育評価部会
入試制度検討部会
カリキュラム専門部会
臨床技能教育部会
FD部会
和歌山SPの会

## カリキュラム専門部会

HOME&gt;部会・委員会&gt;カリキュラム専門部会&gt;教育要項

教育評価部会トップ\_活動報告\_教育要項\_規程・運営要項\_カリキュラムの変更点

## 平成30年度教育要項(医学部)

## 冒頭部

本学の教育理念	平成30年度カリキュラム概要	平成30年度学事予定表	平成30年度授業日程表
医学部履修要領	警報発令時の対応および健康管理センターの利用について	学生による授業評価について	

## カリキュラム

講義時間	授業単位数一覧表	卒業時コンピテンス
1年生カリキュラム	2年生カリキュラム	3年生カリキュラム
4年生カリキュラム	5,6年生カリキュラム	

## 教養教育科目

数学	統計学	医学統計学	数理科学	物理学
化学	生物学	情報処理	外国語	保健体育
ケア・マインド教育	倫理学	社会科学系科目	心理学	哲学
社会学	医療社会科学I	医療社会科学II	医療行動科学	医療経済学
教養セミナーI	教養セミナーII	医学入門	医学概論I	医学概論II

## 基礎医学科目

生体分子の構造と機能(1)	生体分子の構造と機能(2)	細胞の構造と機能	人体の正常構造と機能(解剖学)
人体の正常構造と機能(生理学)	生体と微生物	生体と病害動物(寄生虫学)	免疫と生体防御
生体と薬物	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	人の死(法医学)
基礎医学英語	医学英語	地域医療学	
特別講義	基礎配属	学生の国際交流	地域実習

※ 人体の正常構造と機能日程表

## 臨床医学講義(主題別)等

血液系	代謝内分泌系	感染・腫瘍免疫系	循環器系
呼吸器系	消化器系	神経系	腎・泌尿器系
特殊感覚系 (耳鼻咽喉科)	特殊感覚系 (眼科)	皮膚科学	運動器系
精神医学系	生殖系	小児科学	麻酔科学
救急医学	臨床検査医学	画像医学	放射線治療
リハビリテーション	歯科口腔外科	形成外科学	リウマチ・膠原病系
衛生学・公衆衛生学	病理診断学	医と法	医療情報学
個人情報	緩和医療	在宅医療	加齢と老化
医療安全	地域医療	腫瘍内科学	病態栄養治療学
感染制御	特別講義(東洋医学)	看護体験実習	臨床実習入門

## ボランティア等

臨床・教育ボランティア

▲▲TOP▲▲

| [和歌山県立医科大学TOP](#) | [和歌山県立医科大学図書館\(紀三井寺館\)](#) | [和歌山県立医科大学図書館\(三葛館\)](#)

Copyrights (C), Wakayama Medical University. All rights reserved.







# 2年生(Ⅲ期・Ⅳ期)カリキュラム

※授業は主として基礎教育第3階 講義室で行われますが、詳細は掲示または講義室内で週知します。

No	月曜日												No	火曜日												No	水曜日												No	木曜日												No	金曜日											
	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限	9限	10限	11限	12限		1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限	9限	10限	11限	12限		1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限	9限	10限	11限	12限		1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限	9限	10限	11限	12限		1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限	9限	10限	11限	12限
休	地域前出施設実習報告												3/7	学年末休業日												3/8	学年末休業日												3/9	学年末休業日												3/10	学年末休業日											
1	人体の正常構造と機能												3/13	人体の正常構造と機能												3/14	人体の正常構造と機能												3/15	人体の正常構造と機能												3/16	人体の正常構造と機能											
2	人体の正常構造と機能												3/20	人体の正常構造と機能												3/21	人体の正常構造と機能												3/22	人体の正常構造と機能												3/23	人体の正常構造と機能											
3	人体の正常構造と機能												3/27	人体の正常構造と機能												3/28	人体の正常構造と機能												3/29	人体の正常構造と機能												3/30	人体の正常構造と機能											
4	人体の正常構造と機能												4/3	人体の正常構造と機能												4/4	人体の正常構造と機能												4/5	人体の正常構造と機能												4/6	人体の正常構造と機能											
5	人体の正常構造と機能												4/10	人体の正常構造と機能												4/11	人体の正常構造と機能												4/12	人体の正常構造と機能												4/13	人体の正常構造と機能											
6	人体の正常構造と機能												4/17	人体の正常構造と機能												4/18	人体の正常構造と機能												4/19	人体の正常構造と機能												4/20	人体の正常構造と機能											
7	人体の正常構造と機能												4/24	人体の正常構造と機能												4/25	人体の正常構造と機能												4/26	人体の正常構造と機能												4/27	人体の正常構造と機能											
8	人体の正常構造と機能												5/1	人体の正常構造と機能												5/2	人体の正常構造と機能												5/3	人体の正常構造と機能												5/4	人体の正常構造と機能											
9	人体の正常構造と機能												5/8	人体の正常構造と機能												5/9	人体の正常構造と機能												5/10	人体の正常構造と機能												5/11	人体の正常構造と機能											
10	人体の正常構造と機能												5/15	人体の正常構造と機能												5/16	人体の正常構造と機能												5/17	人体の正常構造と機能												5/18	人体の正常構造と機能											
11	人体の正常構造と機能												5/22	人体の正常構造と機能												5/23	人体の正常構造と機能												5/24	人体の正常構造と機能												5/25	人体の正常構造と機能											
12	人体の正常構造と機能												5/29	人体の正常構造と機能												5/30	人体の正常構造と機能												5/31	人体の正常構造と機能												6/1	人体の正常構造と機能											
13	人体の正常構造と機能												6/5	人体の正常構造と機能												6/6	人体の正常構造と機能												6/7	人体の正常構造と機能												6/8	人体の正常構造と機能											
14	人体の正常構造と機能												6/12	人体の正常構造と機能												6/13	人体の正常構造と機能												6/14	人体の正常構造と機能												6/15	人体の正常構造と機能											
15	人体の正常構造と機能												6/19	人体の正常構造と機能												6/20	人体の正常構造と機能												6/21	人体の正常構造と機能												6/22	人体の正常構造と機能											
16	人体の正常構造と機能												6/26	人体の正常構造と機能												6/27	人体の正常構造と機能												6/28	人体の正常構造と機能												6/29	人体の正常構造と機能											
17	人体の正常構造と機能												7/3	人体の正常構造と機能												7/4	人体の正常構造と機能												7/5	人体の正常構造と機能												7/6	人体の正常構造と機能											
18	人体の正常構造と機能												7/10	人体の正常構造と機能												7/11	人体の正常構造と機能												7/12	人体の正常構造と機能												7/13	人体の正常構造と機能											
19	人体の正常構造と機能												7/17	人体の正常構造と機能												7/18	人体の正常構造と機能												7/19	人体の正常構造と機能												7/20	人体の正常構造と機能											
20	人体の正常構造と機能												7/24	人体の正常構造と機能												7/25	人体の正常構造と機能												7/26	人体の正常構造と機能												7/27	人体の正常構造と機能											
21	人体の正常構造と機能												7/31	人体の正常構造と機能												8/1	人体の正常構造と機能												8/2	人体の正常構造と機能												8/3	人体の正常構造と機能											
休	人体の正常構造と機能												8/7	人体の正常構造と機能												8/8	人体の正常構造と機能												8/9	人体の正常構造と機能												8/10	人体の正常構造と機能											
17	人体の正常構造と機能												8/14	人体の正常構造と機能												8/15	人体の正常構造と機能												8/16	人体の正常構造と機能												8/17	人体の正常構造と機能											
18	人体の正常構造と機能												8/21	人体の正常構造と機能												8/22	人体の正常構造と機能												8/23	人体の正常構造と機能												8/24	人体の正常構造と機能											
19	人体の正常構造と機能												8/28	人体の正常構造と機能												8/29	人体の正常構造と機能												8/30	人体の正常構造と機能												8/31	人体の正常構造と機能											
20	人体の正常構造と機能												9/4	人体の正常構造と機能												9/5	人体の正常構造と機能												9/6	人体の正常構造と機能												9/7	人体の正常構造と機能											
21	人体の正常構造と機能												9/11	人体の正常構造と機能												9/12	人体の正常構造と機能												9/13	人体の正常構造と機能												9/14	人体の正常構造と機能											
休	人体の正常構造と機能												9/18	人体の正常構造と機能												9/19	人体の正常構造と機能												9/20	人体の正常構造と機能												9/21	人体の正常構造と機能											
休	人体の正常構造と機能												9/25	人体の正常構造と機能												9/26	人体の正常構造と機能												9/27	人体の正常構造と機能												9/28	人体の正常構造と機能											

# 2年生(Ⅲ期・Ⅳ期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育Ⅲ期 講義Ⅲで行われますが、詳細は掲示または事務所で告知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日				
	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限
22	10/2	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/4	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/5	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/6	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/7	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
23	10/9	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/11	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/12	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/13	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/14	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
24	10/16	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/18	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/19	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/20	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/21	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
25	10/23	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/25	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/26	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/27	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/28	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
26	10/30	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	10/31	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/1	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/2	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/3	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
27	11/6	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/7	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/8	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/9	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/10	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
28	11/13	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/15	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/16	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/17	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/18	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
29	11/20	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/22	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/23	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/24	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/25	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
30	11/27	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/29	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	11/30	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/1	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/2	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
31	12/4	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/6	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/7	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/8	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/9	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
32	12/11	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/13	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/14	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/15	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/16	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
33	12/18	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/20	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/21	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/22	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習	12/23	細胞の構造と機能	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎解剖学 実習
休	12/25					12/27					12/28					12/29					12/30				
34	1/8	成人の日				1/10					1/11					1/12					1/13				
35	1/15	IV期本試験				1/17					1/18					1/19					1/20				
36	1/22	生化学・細胞生物学実習				1/24					1/25					1/26					1/27				
37	1/29	生化学・細胞生物学実習				1/31					2/1					2/2					2/3				
38	2/5	IV期再試験				2/7					2/8					2/9					2/10				
39	2/12	振替休日(建国記念の日)				2/14					2/15					2/16					2/17				
(1)	2/19					2/21					2/22					2/23					2/24				
(2)	2/26					2/28					3/1					3/2					3/3				
(3)	3/5					3/7					3/8					3/9					3/10				
(4)	3/12					3/14					3/15					3/16					3/17				
休	3/19					3/21					3/22					3/23					3/24				
	3/26					3/28					3/29					3/30					3/31				

※「有休期間」、「無休期間」については別途告知します。

※「自習」については、休校となった講義や再試験、特別講義を行うことがあります。

※「無休期間」の一部は、夏期休業日に実施される場合があります。決定的な通知はお知らせします。

※2/19～講義については本庄の部分が休校となりますので、決定的な通知はお知らせします。

# 3年生(V期・VI期)カリキュラム

※授業は主として基礎教育館3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日						
	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限		
1	2/20	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	2/20	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	2/23	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	2/24	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
2	2/27	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	2/27	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	3/2	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	3/3	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
3	3/6	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	3/6	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	3/9	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	3/10	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
4	3/13	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	3/13	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	3/16	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	3/17	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
休	3/20	学年末休業日					3/20	学年末休業日					3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日							
休	3/27	学年末休業日					3/27	学年末休業日					3/30	学年末休業日					3/31	学年末休業日							
休	4/3	春期休業日					4/3	春期休業日					4/6	春期休業日					4/7	春期休業日							
5	4/10	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	4/10	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	4/13	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	4/14	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
6	4/17	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	4/17	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	4/20	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	4/21	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
7	4/24	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	4/24	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	4/27	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	4/28	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
8	5/1	講義予備日					5/1	講義予備日					5/4	みどりの日					5/5	この日の日							
9	5/8	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	5/8	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	5/10	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	5/11	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
10	5/15	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	5/15	生体と微生物	生体と微生物	人の死(法医学)	生体と微生物	5/17	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	5/18	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
11	5/22	病棟訪問	病棟訪問	人の死(法医学)	病棟訪問	5/22	病棟訪問	病棟訪問	人の死(法医学)	病棟訪問	5/24	病棟実習	病棟実習	免疫と生体防御	病棟実習	5/25	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
12	5/29	試験					5/29	試験					6/1	試験					6/2	試験							
13	6/5	試験					6/5	試験					6/8	試験					6/9	試験							
14	6/12	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	6/12	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	6/15	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	6/16	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
15	6/19	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	6/19	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	6/21	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	6/22	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
16	6/26	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	6/26	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	6/28	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	6/29	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
17	7/3	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	7/3	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	7/5	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	7/6	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
18	7/10	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	7/10	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	生体と微生物	7/12	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	7/13	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
休	7/17	夏の日の日					7/17	夏の日の日					7/20	夏の日の日					7/21	夏の日の日							
休	7/31	夏期休業日					7/31	夏期休業日					8/3	夏期休業日					8/4	夏期休業日							
休	8/7	夏期休業日					8/7	夏期休業日					8/10	夏期休業日					8/11	夏期休業日							
休	8/14	夏期休業日					8/14	夏期休業日					8/17	夏期休業日					8/18	夏期休業日							
休	8/22	夏期休業日					8/22	夏期休業日					8/24	夏期休業日					8/25	夏期休業日							
19	8/28	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	特別講義(人権医療)	8/28	病因と病態	病因と病態	人の死(法医学)	特別講義(人権医療)	8/30	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	生体と微生物	8/31	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL	基礎医学 PBL
20	9/4	薬理学実習					9/4	薬理学実習					9/7	薬理学実習					9/8	薬理学実習							
21	9/11	薬理学実習					9/11	薬理学実習					9/14	薬理学実習					9/15	薬理学実習							

# 3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日					
	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	
22	9/18					9/19					9/20					9/21										
23	9/18					9/19					9/20					9/21										
24	9/18					9/19					9/20					9/21										
25	9/18					9/19					9/20					9/21										
26	9/18					9/19					9/20					9/21										
27	9/18					9/19					9/20					9/21										
28	9/18					9/19					9/20					9/21										
29	9/18					9/19					9/20					9/21										
30	9/18					9/19					9/20					9/21										
31	9/18					9/19					9/20					9/21										
32	9/18					9/19					9/20					9/21										
33	9/18					9/19					9/20					9/21										
34	9/18					9/19					9/20					9/21										
35	9/18					9/19					9/20					9/21										
休	9/22					9/23					9/24					9/25										
36	9/18					9/19					9/20					9/21										
37	9/18					9/19					9/20					9/21										
(1)	9/22					9/23					9/24					9/25										
(2)	9/29					9/30					10/1					10/2										
(3)	9/25					9/26					9/27					9/28										
(4)	9/12					9/13					9/14					9/15										
(5)	9/19					9/20					9/21					9/22										
(6)	9/26					9/27					9/28					9/29										
(7)	9/5					9/6					9/7					9/8										
(8)	9/12					9/13					9/14					9/15										
休	9/19					9/20					9/21					9/22										

※1/22からの臨床医学講義については本庄の部分が異なりますので、決まり次第追ってお知らせします。

## 5年生 (IX・X期) カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨 床 実 習				
火	臨 床 実 習				
水	臨 床 実 習				
木	臨 床 実 習				
金	臨 床 実 習				

2月13日(月)~2月17日(金) 1W オリエンテーション  
 2月21日(火)~3月17日(金) 4W 臨床実習  
 4月3日(月)~7月28日(金) 16W 臨床実習  
 9月11日(月)~12月28日(木) 16W 臨床実習  
 1月15日(月)~3月9日(金) 8W 臨床実習

## 6年生 (XI・XII期) カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨 床 実 習				
火	臨 床 実 習				
水	臨 床 実 習				
木	臨 床 実 習				
金	臨 床 実 習				

4月10日(月)~4月28日(金) 3W 選択制臨床実習  
 5月22日(月)~7月21日(金) 9W 選択制臨床実習  
 7月25日(火) 1限~2限 衛生学・公衆衛生学  
                   4限 知的財産権  
                   5限 薬害問題  
 7月26日(水) 臨床実習後OSCE  
                   (Post Clinical Clerkship OSCE)  
 9月~11月 卒業試験





# 1年生(I・II期)カリキュラム

※火曜日時間割 1限:9:00~10:10、2限:10:20~11:30、3限:11:40~12:50、4限:13:30~15:00(90分)、5限:15:10~16:20

※認識は主として医学部三専教育棟1階の講義室1で行われるが、詳細は掲示によって通知する。

※情報処理、物理学実習Ⅰ、化学実習Ⅰ、生物実習Ⅰは、I期の前半、後半をA・Bのグループに分かれて受講する。医学統計学、心理学実習は、A・Bのグループに分かれて受講することを受講する。(詳細は別途掲示する。)

※内容は変更になることがある。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日					
	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	
19	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14
20	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27
21	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17
22	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
23	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21
24	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
25	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
26	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25
27	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	2/28	2/29	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	2/28	2/29	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19
28	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
29	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8
30	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1
31	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25
休						12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
						12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
32	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
33	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	2/30	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	2/30	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9
34	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8
35	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2
36	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26
37	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16
38	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
	教養セブナーⅡ	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保険体育Ⅱ	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
(1)	医学入門(実習報告会)					2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16
	医学入門(実習報告会)					2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9							









### 5年生(IX・X期)カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨 床 実 習				
火	臨 床 実 習				
水	臨 床 実 習				
木	臨 床 実 習				
金	臨 床 実 習				

2月5日(月)~2月9日(金) 1W オリエンテーション  
 2月13日(火)~8月3日(金) 24W 臨床実習  
 9月10日(月)~12月28日(金) 16W 臨床実習  
 1月15日(火)~2月8日(金) 4W 臨床実習

### 6年生(XI・XII期)カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨 床 実 習				
火	臨 床 実 習				
水	臨 床 実 習				
木	臨 床 実 習				
金	臨 床 実 習				

3月12日(月)~4月20日(金) 6W 選択制臨床実習  
 5月14日(月)~7月13日(金) 9W 選択制臨床実習  
 7月17日(火) 1限~2限 衛生学・公衆衛生学  
 3限 Post-CC OSCE 説明会  
 4限 知的財産権  
 5限 薬害問題  
 7月18日(水) Post-CC OSCE  
 (Post Clinical Clerkship OSCE)  
 9月~11月 卒業試験

・院内2クールと院外4クールの組み合わせを選択できないようにする方が良い。何も条件を付けないままだと院外4クールとする学生が出てくる可能性もある。

(村田委員)

最大で院外は3クール(=9週間)までとするように検討する。

【夏休みについて】

現5年生(平成30年度)の夏休みは、「8月6日～9月3日の5週間」。西医体があるので、その期間に設定した。

臨床実習は4週間1セットのため、週を分けられない。現4年生(平成31年度)は、西医体に出られるように「8月5日～9月2日の5週間」を休みとして原案を作成している。

(学生委員)

原案では、「12月30日～1月6日の2週間」が冬休みとなっているが、他府県から和医大へ来ている学生は年末に家でゆっくりできない。個人的な案としては、ポリクリの週を1週間繰り上げてはどうか。夏休みとなっている「8月5日～9月2日の5週間」を「8月5日～8月26日の4週間」とし、冬休みの「12月30日～1月6日の2週間」を「12月23日～1月6日の3週間」にすれば、遠方からの学生も年末にゆっくりと過ごせるのでは。

また、春に大会がある運動部があるので、原案では2月～ゴールデンウィークまでバラバラに休みの週(原案:2月10日、3月30日、4月27日～5月11日の週)が入っているが、春に休みを固められないか。具体的には、選択ポリクリを1週間前倒して、2月10日の週の休みを無くす。選択ポリクリ第2クール終了後の「3月23日～4月13日の4週間」を春休みとできないか。

(学生課)

3月30日の週の休みについては、4月に年度を跨いでしまうため、外部病院との手続きなどの関係から事務処理上設定している。

(村田委員)

5月の休みはゴールデンウィークのため動かさない。

2月10日の週の休みを後ろにずらして、「2月10日～3月16日の6週間」を選択ポリクリ。「3月23日～3月30日の2週間」を春休みという案で検討する。

## 2. 基礎配属報告会について

《村田委員から、資料に基づき説明。》

今年度から3年生のカリキュラムの基礎配属を通年化して行うことにより、時間数がかなり増えている。2月19日の4、5限から始まり、11月2日までと、去年の2倍程度の時間で行っている。基礎配属後に、学生が行ったことに対して表彰を行うため、平成31年1月18日の1～5限に基礎配属報告会を行う。先日の基礎教授懇談会で作成した実施案について、本部会でご議論いただきたい。

本学の医学部1～6年生のカリキュラムにおいて実施している、地域医療や総合診療、医学概論などの内容について、重複している部分やどの学年で実施していくかを今後検討していただきたい。

(村田委員)

地域医療だけではなく、全ての科目において、教養・基礎・臨床で縦断的な授業をしていく必要がある。

(主な意見)

・臨床実習の期間がかなり長くなったので、カリキュラムが圧迫されている。学生の負担も大きい。

⇒4年生の授業も多すぎるといった意見もあるので、その点も今後検討していく必要がある。

・総合診療の内容は、地域医療や衛生学・公衆衛生学が占める部分が多い。他にも小児科のワクチンや救急も入ってくる。

⇒現在のカリキュラムでは、地域医療の中にプライマリケア（総合診療）の枠の授業が1コマ入っている。臨床実習においては、院外で総合診療を実施している病院は現在では紀北分院しかない。受け入れられるかどうかの問題はあるが、紀北分院での臨床実習を実施するにあたって、総合診療を充実させていく必要があるかもしれない。

・総論的には問題はないが、各論的には、地域医療のことをどうやって教育していくかを今後詰めていく必要があると思う。

(村田委員)

この場では結論は出ないが、今後はワーキンググループを立ち上げるなど、少人数でたたき台を作って、議論していく必要がある。

#### 4 その他

《村田委員から説明。》

##### 【特別講義について】

本学のカリキュラム構成について、6年間通してのシームレスな教育が必要である。宮下学長から、それに関係した2つの特別講義を、今年度の4年生の講義予備日で開催してはどうかと提案があった。具体的な日程は、10月12日と10月19日の4、5限の講義予備日での実施を考えている。

内容については、本学を平成5年に卒業した厚生労働省地域医療計画課長の佐々木先生に地域医療保健政策の立案について、講義だけではなく学生参加型のワークショップ形式でお願いする。もう一つは、生命倫理。本学の教養にも倫理学の講義はあるが、もう少し臨床にターゲットを置いた授業を行うため、本学非常勤講師の小児外科の窪田先生に依頼したい。

⇒意見なし。





## 平成29年度 教育評価部会 教員の授業相互評価

## ■今年から初めて講義を行う教員

所属	職名	氏名	ビデオ撮影等 予定日		備考
解剖学第一	助教	山岸 直子	5月9日	1-2限	池田、村田(顕)、川邊
耳鼻咽喉科	講師	杉田 玄	5月16日	4-5限	村田(晋)、村田(顕)、川邊
産科婦人科学	助教	山本 円	5月17日	3限	山本、村田(顕)、川邊
産科婦人科学	助教	溝口 美佳	5月19日	3限	伊東、村田(顕)、川邊
耳鼻咽喉科	講師	ゲンテウス・メーメット	5月26日	1限	羽野、村田(顕)、川邊
小児科学	助教	津野 嘉伸	9月27日	4限	岩橋、村田(顕)、川邊
皮膚科学	助教	国本 佳代	10月2日	2限	村田(晋)、村田(顕)、川邊
皮膚科学	助教	三木田 直哉	10月11日	3限	羽野、村田(顕)、川邊
小児科学	助教	浜 武継	10月24日	2限	伊東、村田(顕)、川邊

## ■授業相互評価を希望する教員

衛生学	助教	竹村 重輝	4月18日	2限	岩橋、村田(顕)、川邊
-----	----	-------	-------	----	-------------

## 医学英語〈PM〉

### オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

### 教員名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

耳鼻咽喉科学講座 講師 グンデウス メーメット

非常勤講師 勝又泰洋

### I 一般学習目標

医学に特化して、学術目的の英語力を磨き、習熟する。アカデミックな英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方の基礎を習得する。

### II 個別学習目標

1. 医学に特化した、アカデミックな英語を正しく理解する (reading)。
2. 医療関連の記事の内容を理解する。
3. 医学論文の内容を理解する。
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する (listening)。
5. 医学に特化した学術目的のディスカッションをする (speaking)。
6. 医学論文の書き方の基礎を学ぶ (writing)。
7. 医学に特化した学術英語語彙の語源を理解する。
8. 医学に特化した学術英語語彙の語源の習得のためのラテン文法を理解する。
9. 医学に特化した学術英語語彙の語源の習得のためのギリシア文法を理解する。
10. 医学論文の構造を学ぶ。

### III 教育内容

- ・臨床の場で使われる英語を教授する (メーメット、5月25日 ※木曜4・5限)
- ・医学論文の正しい読解の仕方を教授する (全員)
- ・医学に特化した英語語彙の語源 (ギリシア語) に触れながら、ギリシア語文法を教授する (勝又、4月21日、5月12日、6月16日、6月30日 ※金曜4・5限)
- ・医学に特化した英語語彙の語源 (ラテン語) に触れながら、ラテン文法を教授する (廣田、4月13日、4月20日、4月27日、5月11日、5月18日 ※木曜4・5限)
- ・基礎的な医学論文の構造を教授する (全員)
- ・基礎的な医学論文の執筆の仕方を教授する (全員)

### IV 学習および教育方法

テキストが与えられた場合には、辞書を引いて予習することが必要である。授業中に翻訳するよう求められたり、作文するよう求められたりすることがある。また、テーマについて、英語でディスカッションを行ったり、エッセーを書いて発表したりすることがある。

### V 評価の方法

評価は、試験により行う。授業中の発表の出来、エッセーなどの提出物の出来も加味する。

### VI 推薦する参考書

『講義録 医学英語 II 科学英語への扉』(メジカルビュー社)

松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』(東洋出版)

水谷智洋『古典ギリシア語初歩』(岩波書店)

# 免疫と生体防御〈C3〉

## オーガナイザー

生体調節機構研究部 教授 改正恒康

## 教員名

生体調節機構研究部

教授 改正恒康

准教授 邊見弘明

助教 佐々木泉

皮膚科学講座

准教授 金澤伸雄

## I 一般学習目標

免疫は病原体に対する応答機構であると共に、宿主由来の内因性物質に対する応答機構でもある。免疫の基本的なメカニズムとその破綻によって起こる、アレルギーや自己免疫疾患などの病態を理解する。

## II 個別学習目標

1. 免疫系の重要性について説明できる。
2. 免疫担当細胞の種類とその機能について説明できる。
3. 自然免疫と獲得免疫の機能と意義について説明できる。
4. B細胞（抗体）、T細胞（T細胞受容体）による抗原認識について説明できる。
5. 抗体、T細胞受容体生成の分子機構を説明できる。
6. MHCについて説明できる。
7. 抗原提示の分子機構、特にMHCクラスI、クラスIIの抗原提示機構の違いについて説明できる。
8. B細胞、T細胞の生成過程について説明できる。
9. T細胞の教育（正の選択、負の選択、免疫寛容）について説明できる。
10. T細胞サブセットとその分化について説明できる。
11. 抗原提示細胞の種類と機能について説明できる。
12. リンパ節におけるB細胞活性化について説明できる。
13. 代表的なサイトカインとその機能を説明できる。
14. 感染に対する免疫応答について説明できる。
15. 免疫記憶について説明できる。
16. 移植免疫の問題点について説明できる。
17. 腸管免疫の概略について説明できる。
18. アレルギーの種類(I型からIV型)とその機序について説明できる。
19. 代表的な自己免疫疾患とその発症機序について説明できる。
20. 腫瘍免疫の概略について説明できる。
21. 主な先天性免疫不全症、AIDS、自己炎症性疾患について説明できる。
22. 遺伝子改変マウスの基本原理とその応用について説明できる。
23. 核酸認識システムとその破綻について説明できる。
24. 代表的な免疫制御剤、生物学的製剤（抗体）とその機序について説明できる。

### Ⅲ 教育内容

講義項目と担当者（変更する場合があります）

V期

No	月日	曜日	時間	項目	担当科	担当
1	H29.2	水	224	免疫応答概論	生体調節	齋正
2	H29.2	水	225	免疫担当細胞	生体調節	齋正・佐々木
3	H29.2	木	233	自然免疫と獲得免疫	生体調節	齋正・邊見
4	H29.2	水	14	自然免疫による認識	生体調節	齋正
5	H29.2	水	15	補体、NK細胞	生体調節	齋正
6	H29.2	水	23	自然免疫の機能	生体調節	齋正・邊見
7	H29.2	水	84	B細胞（抗体）による抗原認識	生体調節	齋正
8	H29.2	水	85	T細胞(T細胞受容体)による抗原認識	生体調節	改正
9	H29.3.9	木	3	抗原提示の分子機構、MHC	生体調節	改正
10	H29.3.15	水	4	T細胞の生成過程(正、負の選択)	生体調節	改正
11	H29.3.15	水	5	B細胞の生成過程	生体調節	改正・佐々木
12	H29.3.16	木	3	リンパ節におけるB細胞活性化	生体調節	改正・邊見
13	H29.4.12	水	4	今までのまとめ、予備日	生体調節	改正・邊見
14	H29.4.12	水	5	T細胞の機能、サイトカイン	生体調節	改正
15	H29.4.13	木	3	免疫記憶、生殖免疫	生体調節	改正
16	H29.4.19	水	4	移植免疫、免疫制御剤	生体調節	改正
17	H29.4.19	水	5	腸管免疫、皮膚免疫	生体調節	改正
18	H29.4.20	木	3	I型からIV型アレルギー	生体調節	改正
19	H29.4.26	水	4	自己免疫疾患	生体調節	改正・邊見
20	H29.4.26	水	5	樹状細胞サブセットの機能	生体調節	改正・佐々木
21	H29.4.27	木	3	腫瘍免疫	生体調節	改正
22	H29.5.10	水	4	免疫不全	生体調節	改正・佐々木
23	H29.5.10	水	5	AIDS、まとめ	生体調節	改正
24	H29.5.11	木	3	遺伝子改変マウスの原理と応用	生体調節	改正
25	H29.5.18	木	3	皮膚免疫のトピックス、自己炎症性疾患	皮膚科	金澤

### Ⅳ 学習および教育方法

講義（25時間）：「新しい免疫入門」（本教室から貸し出しも可能）を読んでおくことが望ましい。「標準免疫学」を中心に講義を進めますが、適宜、「Janeway's Immunobiology」、「Cellular and Molecular Immunology」からの図を引用します。スライドと配布資料を用いながら、勉強のポイントを講義で説明します。

### Ⅴ 評価の方法

筆答試験で行う。出席が3分の2に満たない学生、授業態度の悪い学生には、試験、再試験を認めないことがある。

### Ⅵ 推薦する参考書

審良 静男、黒崎 知博 「新しい免疫入門 自然免疫から自然炎症まで」 ブルーバックス  
河本 宏 「マンガでわかる免疫学」 オーム社

谷口克 監修 「標準免疫学」 医学書院

Kenneth Murphy 「Janeway's Immunobiology (日本語7版、英語8版)」 Garland Science

Abbas, Lichtman, Pillai 「Cellular and Molecular Immunology」 Elsevier

# 遺伝子と遺伝子異常 < C 2 & C 4 >

オーガナイザー

先端医学研究所 分子医学研究部 教授 坂口 和成

教 員 名

先端医学研究所 分子医学研究部

教授 坂口 和成

講師 片山 圭一

## I 一般学習目標

各種の遺伝疾患について病態の理解、臨床診断、分子遺伝学的検査の計画とその結果の評価、および遺伝相談ができるようになるために、遺伝学の基礎知識および法則を習得する。また、英語での知識習得法を会得する。

## II 個別学習目標

医学英語をマスターしており、以下の各事項を、日英両語により説明できる。

1. 生体物質の代謝や細胞の構造と機能 (I) & (II) の知識を十分に活用できる。
2. 遺伝学の習得の重要性について説明できる。
3. 教科書に含まれる典型的な遺伝疾患の発症機序、症状、臨床所見、診断のための検査法、予防手段および治療法等につき説明できる。(5以下に分類された遺伝疾患について個々に要点を記しているが、ここには全般的なことを記す。)
4. 常染色体性優性遺伝・常染色体性劣性遺伝・X染色体連鎖性遺伝・Y染色体連鎖性遺伝等の本質を説明し、それぞれに属す疾患の診断と遺伝相談に対応できる。
5. 生殖細胞系と体細胞系のそれぞれにおける遺伝子異常が引き起こす疾患の相違点を説明できる。
6. 個体発生の主な分子機構およびその異常により生ずる疾患を遺伝子レベルで説明でき、診断および遺伝相談に応じられる。
7. 代謝異常をきたす遺伝疾患の発症機序を説明でき、診断および遺伝相談に応じられる。
8. 多因子遺伝性疾患の本質に基づき、診断および遺伝相談に応じられる。
9. ミトコンドリア性遺伝の特質を説明でき、この遺伝様式を持つ疾患の診断および遺伝相談に応じられる。
10. 染色体異常に基づく遺伝性疾患の発症機序につき説明でき、診断および遺伝相談に応じられる。
11. 染色体異常を規則に従って記載でき、その詳細を説明できる。
12. 癌遺伝子および癌抑制遺伝子の機能を概説できる。
13. 腫瘍発生に関する遺伝的要因と外的因子を概説できる。
14. 遺伝性腫瘍の本質に基づき、診断および遺伝相談に応じられる。
15. 遺伝性疾患の遺伝確率を Hardy-Weinberg の法則および Bayes の理論を応用して計算できる。
16. 塩基反復配列の延長による疾患および Anticipation (発現促進現象) の本質を説明でき、この部類に属す遺伝性疾患の診断および遺伝相談に応じられる。
17. Genetic heterogeneity につき説明できる。
18. Haploinsufficiency や Dominant-negative effect につき、遺伝形式との関連性を含めて説明できる。
19. 遺伝学における Imprinting や X染色体不活性化の本質およびその異常による遺伝疾患を説明できる。
20. 遺伝学的 Mosaicism の本質とそれが遺伝疾患の発症に及ぼす影響を説明できる。
21. Pleiotropy (多面発現)・Expressivity (表現度)・Penetrance (浸透率) について具体例も含めて説明できる。
22. Linkage analysis (連鎖分析)・LOD score・Centimorgan (遺伝学的距離)・Linkage disequilibrium (連鎖不平衡) などの遺伝学専門用語を説明できる。
23. Positional cloning・Positional candidate approach について説明できる。
24. ヒトゲノムの構造・塩基配列につき概説でき、STS (配列タグ部位)・EST (発現配列部位)・SNP (一

塩基多型)などの意義を説明できる。

25. Polymorphism (遺伝子多型) の定義、検出方法およびその利用方法を説明できる。
26. 遺伝性疾患診断のために臨床上必要な遺伝学的解析方法を選択してその結果を的確に説明できる。
27. 出生前診断の意義、手法、解釈について説明できる。
28. 新生児スクリーニング、保因者スクリーニング、および発病リスク検査等について意義、効果、および手技につき説明できる。
29. 集団遺伝学の基本概念および法則の説明ができる。
30. 人種間および民族間の遺伝形質の差異に関して説明できる。
31. 種々の薬剤代謝に対する遺伝子の役割を説明できる。
32. 遺伝子治療を、種々の手法の特徴を含めて説明できる。
33. 遺伝相談において、倫理的配慮ができる。

### III 教育内容

Medical Genetics, Fifth Edition (Elsevier; ISBN 978-0-323-18835-7) を教科書とし、全員が毎授業に持参していることを前提として進める。この教科書に関する付加的な情報および教科書の図の取り込みに関しては website (<http://studentconsult.inkling.com/redeem>) が利用できる。ただし、教科書を購入する必要がある。教科書は生協やアマゾンで購入できる。

### IV 学習および教育方法

全員教科書を読んで予習している事を前提として進める。

1. 教科書以外に参考とするものとしては、インターネットでアクセスできる Online Mendelian Inheritance in Man (OMIM) (<http://omim.org/>)、National Center for Biotechnology Information (NCBI) (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/>) のPubMedのデータベース、および学内で図書館経由でのみアクセスできる UpToDate がある。
2. チュートリアル類似形式とし、学生を一章担当単位のグループに分け、各々のグループに教科書に従って遺伝学の種々事項の説明、症例の解説、および章末問題の解説を担当してもらうこととする。2年生後期(IV期)終了前に各章を担当するグループのメンバーおよび代表者を決定する。代表者は、教官とアポイントメントを取ること、提出すべき PowerPoint 全体のチェックを行うこと、メンバー全員や教官との連絡を密にとること等の責任を負う。代表者は教官からの連絡を迅速に受けられる e-mail address と電話番号を教官に通知すること。
3. 各発表グループ内で発表前に問題点についてよく話し合い、解決できない所をアポイントメント (TEL (週日の午後6時00分までのみ): 441-0607 (外線)、5056 (内線)、e-mail: [ksaka@wakayama-med.ac.jp](mailto:ksaka@wakayama-med.ac.jp) (坂口) および [katayama@wakayama-med.ac.jp](mailto:katayama@wakayama-med.ac.jp) (片山)) を取った上で教官と討議することができる。事前討議は1回のみとする。討議事項は箇条書きにし、(1)に記したインターネットサイト等でまずは良く調べた後に教科書の場所を特定して提起すること。単に正解を尋ねる質問は好ましくない。
4. 発表は決められた時間内で英語または日本語で行うものとする。各発表グループの発表者は直前に指名するため、どの部分が当たっても発表ができるように準備しておくこと。発表時に用いる PowerPoint スライドは、英語にて1章当たり 6 5 枚以内で作成することとする。教科書に沿って、各スライドにセクション番号・タイトル・サブタイトルを付けること。同じタイトルまたはサブタイトルで2枚以上にわたるときは①、②・・・等の番号を付けること。内容に関しては、文ではなく句または節で端的に記載すること。章末問題の解説も含めること。
5. 発表に用いる PowerPoint は印刷し、印刷物をクラス全員に事前に配ることとする。印刷物は A4 の用紙を両面で使用し、1スライドの大きさは A4 面の半分の大きさを原則とする。上記のようにスライド数は最高65枚とする。クラスが始まる前にコンピュータ(学生課で貸し出し可能)およびプロジェクターを準備しておくこと。
6. PowerPoint 発表内容を発表前に教官がチェックする事とする。遅くとも発表の14日前には全員でまとめたものを一括して提出する必要がある。e-mail の添付で送る場合は送信後確認を取り、訂正後の返送を希望する場合は自己の Address で大容量のデータの受領が可能かどうかを確認しておくこと。
7. 各発表グループによる発表中および発表後に、他の学生に質問を求めるとともに、教官からも問題提起を行う。発表グループは質問に答えられるようによく予習しておくこと。
8. クラスの全員が発表内容に関して質問することを期待されているが、特に発表章の次章を担当する者は



積極的に複数の質問をすること（採点対象）。最終章の質問は最初のグループが担当する。クラス全体に対して質問時間を充分にとる。質問がなくなった時点で全員が理解したものとみなして先に進む。

## V 評価の方法

1. 授業への出席率が70%未満の場合は本試験および再試験の受験資格を認めない。出席は名簿への署名により厳格に取り扱う。署名のチェックで偽署名が判明した場合は3回分の欠席とみなす。天災、病気、事故、通学列車の運行遅延、忌引き等による欠席は公的証明書等に基づき欠席扱いとはしない。
2. 担当した教科書の一部および症例に関する発表内容 (15%)、質問内容 (5%) および1回の試験 (80%) により評価する。発表内容の評価に関しては、発表グループ毎の他の学生による評価点 (グループ点 : 10点満点) と個人の発表に対する教官による評価点 (個人点 : 5点満点) の合計点とする。
3. 定期試験問題は原則として全て英語で書かれている。
4. 再試験は実施するが、試験 (80%分) に対してのみ行い、発表および質問の再評価は実施しない。

## VI 推薦する参考書 (太字は教科書として使用する)

- Lynn B. Jorde, John C. Carey, Michael J. Bamshad: **Medical Genetics, Fourth Edition, Elsevier, ISBN 978-0-323-05373-0**
- Bruce R. Korf: Human Genetics and Genomics Third Edition, Blackwell Publishing. ISBN 0-6320-4656-2
- Harvey Lodish, Arnold Berk, S. Chris A. Kaiser, Monty Krieger, Matthew P. Scott, Anthony Bretscher, Hidde Ploegh and Paul Matsudaira: Molecular Cell Biology, Sixth Edition, W. H. Freeman and Company, ISBN 9781429203142
- P.A. Hoffee: Medical Molecular Genetics, Blackwell Science, Inc. ISBN 1889325287
- Thomas D. Gelehrter, Francis S. Collins, and David Ginsburg: Principles of Medical Genetics, Second Edition, Williams & Willkins, ISBN 0683-03445-6
- Fauci et al.: Harrison's Principle of Internal Medicine, Latest version, McGrawHill
- Kumar et al.: Robbins and Cotran - Pathologic basis of disease, Latest version, Elsevier Saunders

臨床実習日程  
(平成28年2月～)

周期	日 割 り	備 考
1	2月29日 ～ 3月11日	
2	4月11日 ～ 4月22日	
3	4月25日 ～ 5月13日	4/29昭和の日、5/3憲法記念日、5/4みどりの日、 5/5こどもの日、(5/2,6臨時休業日)
4	5月16日 ～ 5月27日	
5	5月30日 ～ 6月10日	
6	6月13日 ～ 6月24日	
7	6月27日 ～ 7月8日	
8	7月11日 ～ 7月22日	7/18海の日
9	9月5日 ～ 9月16日	
10	9月19日 ～ 9月30日	9/19敬老の日、9/22秋分の日
11	10月3日 ～ 10月14日	10/10体育の日
12	10月17日 ～ 10月28日	
13	10月31日 ～ 11月11日	11/3文化の日
14	11月14日 ～ 11月25日	11/23勤労感謝の日
15	11月28日 ～ 12月9日	
16	12月12日 ～ 12月23日	12/23天皇誕生日
17	1月9日 ～ 1月20日	1/9成人の日
18	1月23日 ～ 2月3日	
19	2月6日 ～ 2月17日	
20	2月20日 ～ 3月3日	2/20開学記念日
21	3月6日 ～ 3月17日	
22	3月20日 ～ 3月31日	3/20春分の日
休	4月3日 ～ 4月7日	春休み①
①	4月10日 ～ 4月28日	
休	5月1日 ～ 5月19日	臨時休業 春休み②
②	5月22日 ～ 6月9日	
③	6月12日 ～ 6月30日	
④	7月3日 ～ 7月21日	7/17海の日

臨床実習日程  
(平成29年2月～)

周期	日 割 り	備 考
1	2月20日 ～ 3月3日	2/20開学記念日
2	3月6日 ～ 3月17日	
3	4月3日 ～ 4月14日	
4	4月17日 ～ 4月28日	
5	5月8日 ～ 5月19日	
6	5月22日 ～ 6月2日	
7	6月5日 ～ 6月16日	
8	6月19日 ～ 6月30日	
9	7月3日 ～ 7月14日	
10	7月17日 ～ 7月28日	7/17海の日
11	9月11日 ～ 9月22日	9/18敬老の日
12	9月25日 ～ 10月6日	
13	10月9日 ～ 10月20日	10/9体育の日
14	10月23日 ～ 11月3日	11/3文化の日
15	11月6日 ～ 11月17日	
16	11月20日 ～ 12月1日	11/23勤労感謝の日
17	12月4日 ～ 12月15日	
18	12月18日 ～ 12月29日	
19	1月15日 ～ 1月26日	
20	1月29日 ～ 2月9日	
21	2月12日 ～ 2月23日	2/12振替休日 2/20開学記念日
22	2月26日 ～ 3月9日	
①	3月12日 ～ 3月30日	3/21春分の日
②	4月2日 ～ 4月20日	
休	4月23日 ～ 5月11日	春休み及び臨時休業
③	5月14日 ～ 6月1日	
④	6月4日 ～ 6月22日	
⑤	6月25日 ～ 7月13日	

## 希望する診療科・期間に名前を記入してください。(締切11月30日(木))

資料10

H30年度 選択ポリクリ(院外)		I	II	III	IV	V
施設名	診療科名	平成30年 3月12日～3月30日 3週間	平成30年 4月2日～4月20日 3週間	平成30年 5月14日～6月1日 3週間	平成30年 6月4日～6月22日 3週間	平成30年 6月25日～7月13日 3週間
紀北分院	総合診療科	4人	4人	4人	4人	4人
	整形外科・脳外科	2人	2人	2人	2人	2人
こころの医療センター	精神科	0人	0人	0人	4人	0人
和歌山病院	呼吸器科	2人	2人	2人	2人	2人
橋本市民病院	循環器内科	0人	0人	1人	1人	0人
	産婦人科	0人	0人	1人	1人	1人
	呼吸器内科	1人	0人	1人	1人	1人
	整形外科	2人	0人	2人	0人	0人
	外科	0人	0人	1人	1人	0人
	脳神経外科	0人	0人	1人	1人	1人
	総合内科	0人	0人	3人	3人	3人
	救急科	0人	0人	1人	1人	0人
公立那賀病院	内科	2人	0人	2人	0人	2人
	外科	0人	0人	1人	0人	0人
	小児科	0人	0人	0人	0人	0人
	呼吸器内科	0人	0人	1人	1人	1人
	呼吸器外科	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	0人	0人	2人	0人	2人
	腎臓内科	1人	1人	1人	1人	1人
和歌山労災病院 I・III・IV・V期は10名まで ※II期は8名まで	麻酔科	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人
	整形外科	2人	2人	2人	2人	2人
	産婦人科	1人	1人	1人	1人	1人
	耳鼻咽喉科	2人	2人	2人	2人	2人
	内科	2人	2人	2人	2人	2人
	呼吸器内科	1人	0人	0人	1人	1人
	消化器内科	0人	0人	1人	1人	0人
	血液内科	0人	0人	0人	1人	0人
	神経内科	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器内科	0人	1人	1人	1人	1人
済生会和歌山病院	糖尿病・代謝内科	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人
	消化器内科	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	1人	1人	1人	1人	1人

H30年度 選択ポリクリ(院外)

施設名	診療科名	I	II	III	IV	V
		平成30年 3月12日～3月30日 3週間	平成30年 4月2日～4月20日 3週間	平成30年 5月14日～6月1日 3週間	平成30年 6月4日～6月22日 3週間	平成30年 6月25日～7月13日 3週間
海南医療センター	整形外科	1人	0人	0人	1人	1人
	内科	3人	3人	3人	3人	3人
	皮膚科	0人	0人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人
	泌尿器科	1人	0人	1人	0人	0人
有田市立病院	整形外科	4人	4人	0人	4人	4人
	内科	2人	2人	2人	2人	2人
	泌尿器科	0人	0人	0人	1人	0人
	外科	0人	0人	1人	0人	1人
国保日高総合病院	産婦人科	0人	2人	2人	0人	2人
	循環器内科	0人	0人	1人	0人	0人
	第一内科(消化器)	0人	0人	0人	1人	1人
	第二内科(内分泌)	0人	0人	0人	2人	0人
南和歌山医療センター	内科	2人	2人	2人	2人	2人
	循環器科	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人
	脳神経外科	2人	2人	2人	2人	2人
	整形外科	2人	2人	2人	2人	2人
	胸部・心臓血管外科	2人	2人	2人	2人	2人
	救命救急科	2人	2人	2人	2人	2人
紀南病院	内科	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器科	1人	1人	1人	1人	1人
	心臓血管外科	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	0人	0人	1人	1人	1人
国保すさみ病院	総合診療(内科・外科)	0人	0人	1人	0人	1人
那智勝浦温泉病院	整形外科	0人	0人	1人	0人	1人
	内科	0人	0人	2人	2人	2人
	リハビリテーション科	0人	0人	1人	1人	1人
新宮市立医療センター	内科	1人	1人	1人	1人	1人
	神経内科	1人	1人	0人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人
	腎臓内科	1人	1人	1人	1人	1人
	小児科	1人	1人	1人	1人	1人
	産婦人科	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	0人	0人	1人	1人	1人
泌尿器科	0人	0人	1人	1人	1人	

## 4) 抜本改革

すべての学年が選択ポリクリ18週になるのは、2年後。

(島学生委員)

- ・平成30年度のカリキュラムでは、4年生年度末の休暇は無いのですか。

(村田委員)

- ・カリキュラムの関係で、臨床実習の期間が延びてきたため、4年生と5年生のカリキュラムが被ってくる。そこを避けるために調整しており、今は春休みの期間が減っている。

(井篁委員)

- ・学生の視点に立ってみると、2月～4月の期間で春休みが全く無いのは学生生活の上では、部活の春の合宿なども行けない。もちろん、勉強と実習が学生の本分ですが、春休みが無いのは今後の課題かなと思う。5年生の臨床実習も8月13日からの開始で、西医体の日程と被ってきてしまうので、今後検討しても良いのでは。

(村田委員)

- ・7月9日まで8月6日を休みにしているが、例えば4週間前倒しで7月9日から7月30日まで休みにして、その後臨床実習にする。また、夏休みを7月9日からにする必要もないので、21～24週目を前倒しにするのも一つの案。

(井篁委員)

- ・4週間が一つのコマになっているので、西医体に被らないように7月20日ぐらいに終わって、8月20日ぐらいまで休みにすることが出来ないということですね。

(島学生委員)

- ・部活によって日程は変わるが、8月頭ごろから西医体が始まる。

(村田委員)

- ・もし、8月6日から休みにになったら西医体はどうですか。

(島学生委員)

- ・西医体の日程は確定していないのではっきり言えませんが、8月13日から休みだと西医体と被ってしまうと思います。

(西松学生委員)

- ・今年の西医体の日程では、もし8月13日から休みなら、西医体と被ってってしまう部活はいくつかあります。

(村田委員)

- ・原則4週間1コマで考えると、どちらにしても西医体の日程と被ってしまう。それとも、ここだけ例外で2週間と2週間に分けて西医体の期間を空けるか。委員の皆さんの意見を伺いたい。

(羽野委員)

- ・日程を詰めたりずらしたりしたとして、今度は春休みが無しになったりする。結局はどちらを取るかの問題。

(井篁委員)

- ・4週間の連続性を無くすのは問題でしょうか。

(羽野委員)

(FAX : 073-441-0704)

学生課教務班 坂井 あて

所属名：放射線科

臨床実習ディレクター

氏名： 中井資貴

平成30年5月23日

各科臨床実習ディレクター 様

平成30年度 第2回臨床実習ディレクター会議の日程調整について (照会)

この度、第2回標記会議を開催することとなりました。

つきましては、下記日程のうちご都合の良い日に○印をお付けいただき、学生課あてに5月30日(水)までにご回答くださいますようお願いいたします。

また、学生の臨床実習についての議案等ありましたら、下記に議題名と内容をご記入ください。

## 記

## 1 日程候補日

良い日に○印	開催候補日時
○	平成30年6月15日(金) 17時～ (1時間程度)
△(途中退出)	平成30年6月18日(月) 17時～ (1時間程度)
	平成30年6月21日(木) 17時～ (1時間程度)
○	平成30年6月22日(金) 17時～ (1時間程度)

※時間は少し前後する場合があります。

## 2 提案議題 (提案議題がある場合、ご記入ください)

議題名	臨床実習の評価と学生への feedback について
内 容	5年生での臨床実習の評価を点数などでもう少し明確に評価を行い(すべての臨床実習終了後試験を行うなど)、総合的に十分なレベルに達していない学生は、進級できないか再度臨床実習を行うかなどの方針とし、学生に緊張感を持たせるようにしてほしい。2~3月になると明らかにだらけている。

mini-CEX のオンラインフォームについて

本年より mini-CEX は PC・スマートフォン・タブレットからご提出ください。  
この URL・パスワードは学生には見せないようにご注意ください。

https://goo.gl/\*\*\*\* パスワード = \*\*\*\*



**臨床実習報告ページ**

制作 教育研究開発センター(5850)

\*必須

パスワードを入力してください。\*

パスワード入力欄: \*\*\*\*

次へ

**簡易版臨床能力評価表(学生評価用)**

Revised mini-clinical evaluation exercise (mini-CEX) form

\*必須

診療科\*  
神経内科学

評価者氏名\*  
村田 顕世

学生氏名\*  
A 小倉 三実

実習開始日\*  
2/12

評価場面\*

- 救急外来
- 救急入院
- 一般外来
- 入院
- 手術
- その他

症例の複雑度

1      2      3

低      ○      ●      ○      高

病歴聴取能力 (患者の話しへの促進: 正確で十分な情報を得るための適切な質問: 情報に必要な言語的、非言語的な手がかりに対する適切な応答)

期待以下1

身体診察能力 (効果的、論理的な順序での診察: 問題点にそった適切な診察: 患者への説明: 診察上の患者への配慮: 謙虚さ)

観察されず

コミュニケーション能力 (患者の解釈モデルへの注視: 専門用語を使わない: 開放的、誠実、共感的な態度)

境界3

臨床判断能力 (適切な診断と診療計画の作成: 診断に必要な提案: リスクと恩恵の考慮)

期待通り4

コミュニケーション能力 (患者の解釈モデルへの注視: 専門用語を使わない: 開放的、誠実、共感的な態度)

境界3

臨床判断能力 (適切な診断と診療計画の作成: 診断に必要な提案: リスクと恩恵の考慮)

期待通り4

プロフェッショナリズム能力 (敬意、思いやり、共感の提示、信頼関係の構築: 迅速さ、敬意、守秘についての患者の要望への対応: 倫理的な態度: 診療の限界点に関する気付き)

別評価者が記入予定

診療の組み立て・効率の良さ (簡潔でタイムリーな診療の優先順位づけ: 適切な要約)

別評価者が記入予定

総合的臨床能力 (満足でざる臨床判断、組み立て、ケア、有効性の提示)

別評価者が記入予定

**フィードバック**

良かった点

改善すべき点

もう少し積極的に参加してほしい。  
あんなところ.....  
こんなところ.....

戻る      送信

複数人で分担する場合は「別評価者が記入予定」を選んでください。



Mini-CEX の集計表より指導医から報告のあった学生の評価を抽出

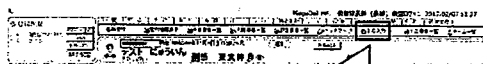
タイムスランプ	診療科	評価者氏名	学生氏名	実習開始日	評価場面	症例の病歴	身体診	コミュニケーション	臨床判断	プロフェッショナル診療の総合的良かった点	改善すべき点
3/19/2018 23:56:48	整形外科	山本 隆	山本 隆	3/19/2018 14:26	入院、手術	2	4	4	4	5	4
3/19/2018 18:08:58	整形外科	山本 隆	山本 隆	3/19/2018 14:26	入院、手術	2	5	4	5	4	積極性
3/20/2018 18:27:22	整形外科	山本 隆	山本 隆	3/20/2018 14:26	手術	2	4	4	4	4	特記事項なし
3/21/2018 13:14:06	整形外科	山本 隆	山本 隆	3/21/2018 14:26	入院、手術	2	4	4	4	4	特になし
3/23/2018 9:33:29	整形外科	山本 隆	山本 隆	3/23/2018 14:26	入院、手術	2	4	4	4	4	特になし
4/6/2018 16:01:01	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/6/2018 14:26	入院、手術	1	0	0	0	0	患者紹介に来ておらず、どの患者の担当になっているのか、どの学生か分からず、評価出来ません。
4/6/2018 16:02:48	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/6/2018 14:26	入院、手術	2	4	4	4	4	4
4/9/2018 9:53:52	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/9/2018 14:26	入院、手術	2	4	4	4	4	4
4/9/2018 9:57:33	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/9/2018 14:26	入院、手術	2	0	0	0	0	3 手術見学には来ていた
4/17/2018 21:21:57	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/17/2018 14:26	手術	2	4	4	4	4	4 実習に真摯に取り組んでいた
4/25/2018 17:46:24	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/25/2018 14:26	入院	2	4	4	4	4	4
4/25/2018 17:47:32	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/25/2018 14:26	入院	2	4	4	4	4	4
4/25/2018 17:48:32	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/25/2018 14:26	入院	2	4	4	4	4	4
4/25/2018 17:49:46	整形外科	山本 隆	山本 隆	4/25/2018 14:26	入院、手術	2	4	4	4	4	4
5/23/2018 22:49:52	整形外科	山本 隆	山本 隆	5/23/2018 14:23	入院、手術	2	4	4	4	3	3 手術に積極的に参加していた。
5/26/2018 10:07:01	整形外科	山本 隆	山本 隆	5/26/2018 14:23	入院	2	4	4	4	4	4
				5/26/2018 14:23	入院	2	4	4	4	4	4
				5/26/2018 14:26	入院	2	4	4	4	4	4
				5/26/2018 14:26	入院	2	4	4	4	4	4

術前プレゼンテーション、患者紹介、手術への立ち会い場面は見られず、積極性が非常に低いと感じた。  
特記事項無し

## 学生カルテ操作演習マニュアル

### 1 a. テスト患者の検索

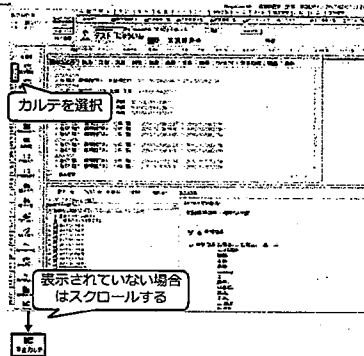
ID入力で患者ID90000102「テスト102」を検索する。



ID=90000102  
または氏名で「テスト」  
で検索する。

### 1 b. 学生カルテの起動

対象の患者の電子カルテを開き、ランチャーから「学生カルテ」を起動する。

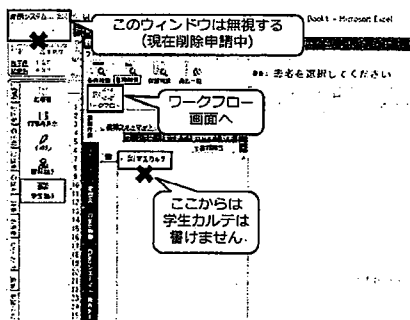


カルテを選択

表示されていない場合  
はスクロールする

### 1c. ワークフロー画面へ

DocuMakerが起動したらワークフロー画面へ



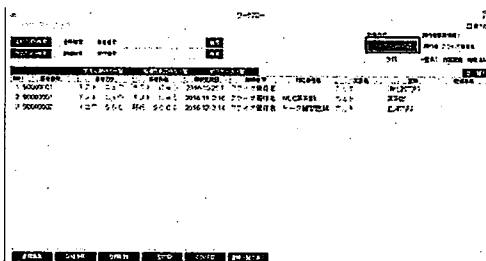
このウィンドウは無視する  
(現在削除申請中)

ワークフロー  
画面へ

ここからは  
学生カルテは  
覆けません。

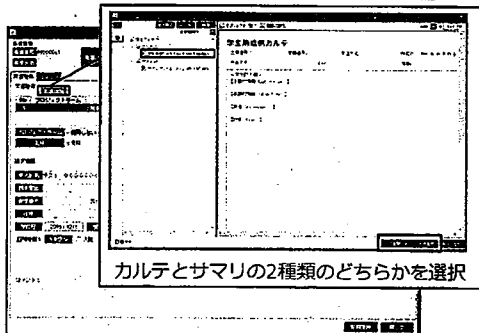
### 2. ワークフロー作成

ワークフロー作成せずに学生カルテは作れません



### 3. 文書追加画面呼び出し

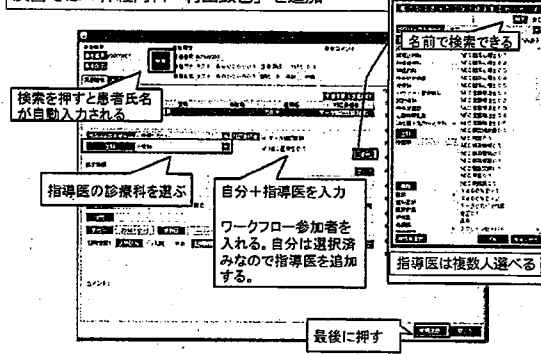
文書追加を押してカルテを選択



カルテとサマリの2種類のどちらかを選択

### 4. ワークフローに必要な情報を入力して依頼登録

文書種類を患者情報、診療科、指導医を選択  
演習では「神経内科 村田顕也」を追加



検索を押すと患者氏名  
が自動入力される

指導医の診療科を選ぶ

自分+指導医を入力

ワークフロー参加者を  
入れる。自分は選択済  
みなので指導医を追加  
する。

指導医は複数人選べる

最後に押す

**5. ワークフローから記載画面を開く**  
 記入したいワークフローをダブルクリックして編集

**6a. カルテを作成する (演習)**  
 今回は練習でPACSからMR画像を貼り付ける。

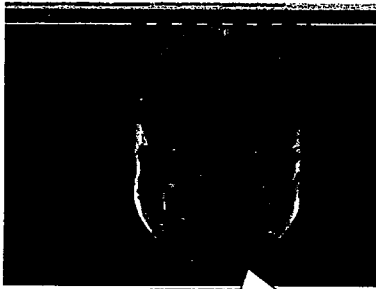
**6b. カルテを作成する (演習)**  
 電子カルテ (MegaOak) のウィンドウに切り替える

**6c. カルテを作成する (演習)**  
 電子カルテの画面からPACSを起動

**6d. カルテを作成する (演習)**  
 PACSからMR画像を開く

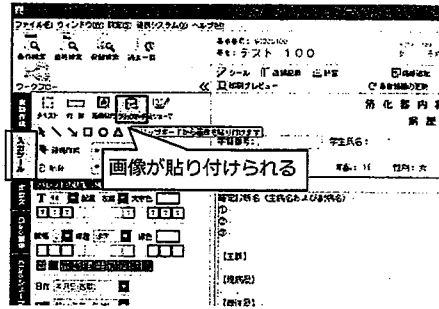
**6e. カルテを作成する (演習)**  
 タスクバーのTryshotでキャプチャー開始する

6f. カルテを作成する (演習)  
MRの画像をキャプチャする



変化したカーソルで  
このあたりを範囲指定

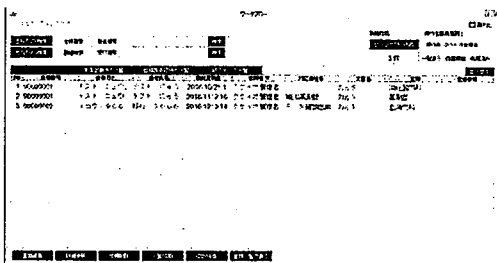
6g. カルテを作成する (演習)  
MRの画像をキャプチャする



指導医に提出 (演習はここまで)

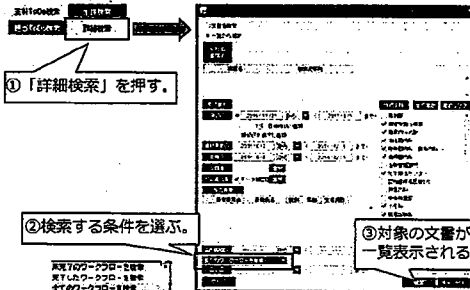
7. 指導医から差し戻しがあった場合

一覧に赤字で表示されるので開いて修正する



8. 完了したカルテの検索方法

指導医に承認されたカルテは詳細検索で確認できる。







(金桶委員)

- ・時期的には大丈夫か。CBT等は合格しているのか。ストレスがかかる時期ではないか。

(鵜飼委員)

- ・次の1年は前半は2科目だけクリアすれば良い。後半はCBTとなる。

(金桶委員)

- ・どこまで大学としてサポートできるかだと思う。

(鵜飼委員)

- ・通常は本人が通院するだけで何もサポートしないが、今回は、定期的に声をかけることが大事であり、健康管理センターの保健師がサポートすることになっている。

(井原委員長)

- ・本人は医師になりたいという意欲が強いみたいであり、そういう意欲があるこの時期に復学させて、良いサイクルに戻してあげたいということである。

## (6) 担任制に係る学生(2年生・留年生)の相談状況について

### ○事務局から口頭で報告があった。

(説明要旨)

- ・12月5日(火)に第2回の担任会議を実施し、相談状況及び担任制について、協議を行った。
- ・2年生は電話・メールで相談を受けた教員が1人、面談により相談を受けた教員は3人で、面談した学生は12人である。主な面談の内容は修学が13人、人間関係(学生)が9人、金銭が1人、健康が4人、その他(交通事故)が1人である。
- ・留年生は電話・メールで相談を受けた教員が0人、面談により相談を受けた教員は1人で、面談した学生は1人である。面談の内容は修学が1人である。
- ・相談状況報告書にオフィスアワーの設定や担当学生の修学状況が分かれば声を書けやすい等の意見があった。

## (7) メンターについて

### ○事務局から口頭で報告があった。

(説明要旨)

- ・12月7日(木)に各クラブ(25クラブ)のメンターを集め、井原学生部長との意見交換会を実施した。
- ・メンターへの相談は、まったくなかったこと、また、メンター自身が役割を認識していない者が多かったため、メンター制度の周知を徹底する必要がある。
- ・各クラブによってメンターの交代時期が異なるため、メンター制度の周知時期について、検討が必要である。
- ・本年度から実施している課外活動大型備品等の助成のニーズを確認するため、各クラブの備品の修繕や買換等を必要としているか確認を行ったが、現時点で特に申出はなかった。

## (8) その他

### ○受験および修学上の特別措置申請に係る決定事項(案)について事務局から口頭で説明があり承認された。

(説明要旨)

- ・障害のある受験生から、受験及び修学上の特別措置申請があり、受験に係る配慮については、入試委員に意見を求めるところである。
- ・本委員会では、受験生が合格した場合の修学上の配慮に対する決定事項の案を下記のとおりとする。
  - ①教室への装具、本立て、文鎮の持ち込みは認めます。
  - ②実習や体育等の科目の何らかの代替措置については、入学後に相談の場を設け、修学に困難を生じさせることがないよう可能な範囲で支援して参ります。

**(3) 平成30年度の担任制について****○事務局から資料に基づき説明し、承認された。**

(説明要旨)

- ・担任制については、昨年度と同様に対象学年は1年生(教養の教員)、2年生(基礎系の教員)及び留年生(教務学生委員会委員)で教員一人当たりの学生数が10人未満とする。
- ・1年生は、前期は事務局が学生の割り振りを行い、後期は教養セミナーの教員が受け持つこととし、2年生は各基礎系教室の教員数により推薦いただく担任の教員数を決定し、各教室から推薦後、事務局で学生を割り振ることとする。

(井原委員長)

- ・意見等がなければ、推薦方法等については例年どおりということで承認することとする。

**(4) 平成30年度既修得単位認定について****○事務局から資料に基づき説明し、承認された。**

(説明要旨)

- ・本学に入学する前に他大学等で履修した授業単位について、既修得単位認定の申請をすることが出来る。新入生のガイダンス時に制度の周知を行い、申請があった場合、本委員会では書類審査、授業担当教員からの意見聴取、本委員会での2次審査及び授業担当教員の意見聴取を経て、6月の教授会に提案、学長が決定というスケジュールで実施する。

(井原委員長)

- ・実施方法及びスケジュール等については、例年どおりである。

(石井委員)

- ・担当教員が複数いる科目については、個別に教員から意見を聞いているが、教員全員に聞くのではなく、代表の教員を決めて、代表の教員が責任を持って調整する方が良いと思う。

(平井委員)

- ・教授がいる科目については、教授が調整するというので良いと思う。そうでない科目は2人以上教員がいないはずである。

(井原委員長)

- ・科目の代表者が調整することとする。

(井篁委員)

- ・6月の教授会で決定だと、手続き上難しいのかもしれないが、学生にとってはあまりメリットがないような気がする。大学によっては入学の手続の時に周知して、4月中に判断しているところもあると聞いている。

(池田委員)

- ・大学によって違うが、5月の連休明けには判断できるように手続を4月中に済ませる大学が多いと聞いている。

(平井委員)

- ・医学部ではなく通常の学部の大学は、ゴールデンウィーク前後に履修申請の確定を行っており、このタイミングで認定も行っている。医学部は少し事情が違うかもしれないが。

(井原委員長)

- ・本学でも可能かどうか、検討することとする。

**(5) 授業料請求の申し合わせについて****○事務局から資料に基づき説明し、承認された。**

(説明要旨)

- ・臨床実習期間の拡大に伴い、各学年の初回講義が年度初めの4月より早く開始しており、各学年の学期は「学則」どおりになっていないが、授業料の徴収については、「学則」及び「公立大学和歌山県立医科大学における授業料その他の費用に関する規程」に基づいて運用している。

- ・この運用では、カリキュラムの切れ目に合わせて留学等で休学や復学する学生に対して、授業料を多く徴収することになるので、「授業料に関する申し合わせ」として「学則」及び「規程」を以下のように読み替える。

①「前期」の期間は各学年のカリキュラムの始期から前期終了時まで(通年等明確な区分がない場合は9月末日まで)とする。

②「後期」の期間は各学年のカリキュラムの後期開始時から(通年等明確な区分がない場合は10月1日から)カリキュラム終了時までとする。



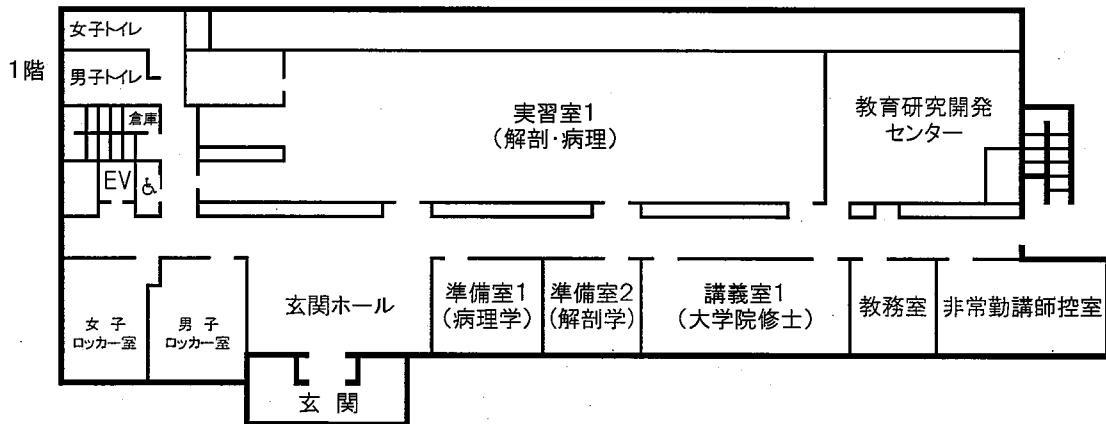
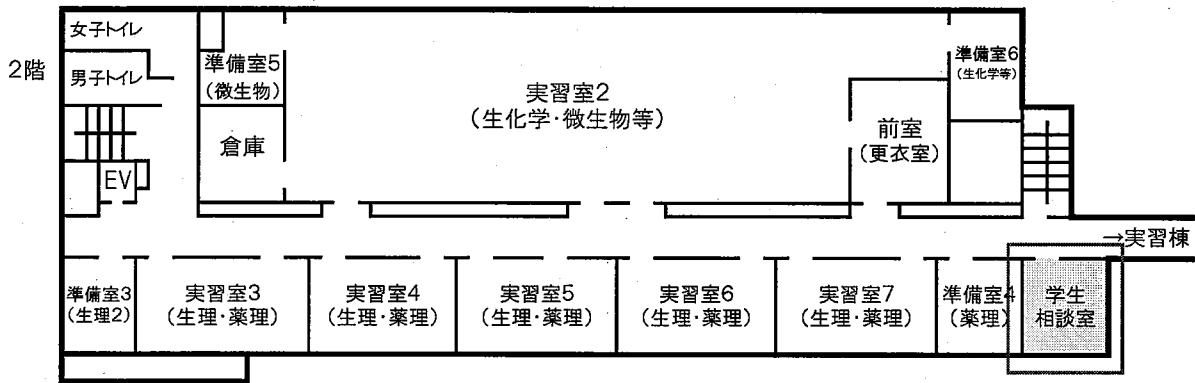
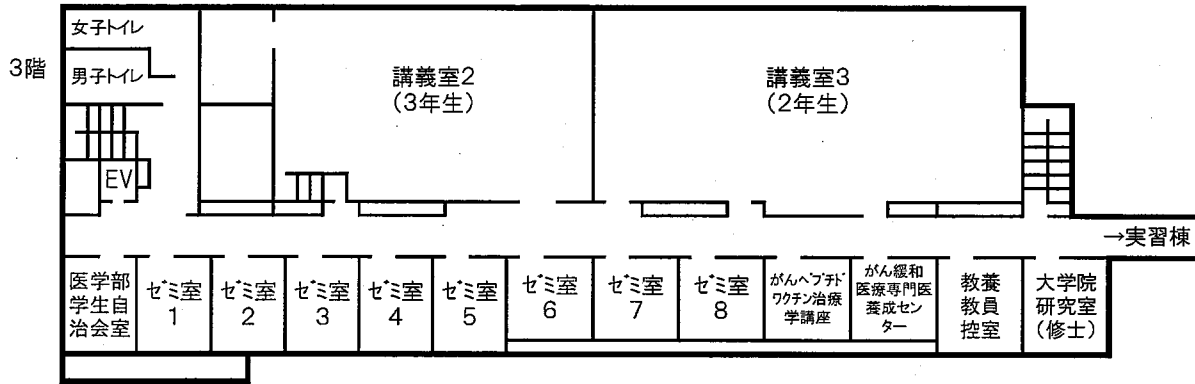
平成30年3月

## 担任制について

### 担任制の概要

- 1 対象学年は1年生・2年生とする。
- 2 1年生は教養、2年生は基礎系の教員を担当とする。
- 3 教員一人当たりの学生数を原則として10名未満とする。
- 4 留年生は教務学生委員会委員を担当とする。
- 5 担任の役割は以下のとおりとする。
  - (1) 修学面、生活面（経済的なものを含む）、健康面の相談窓口となる。
  - (2) 学生の修学、生活、健康上の状況を把握し、学生部長に報告する。
  - (3) 欠席が多い学生と面談を行う。
  - (4) 成績不振者と面談を行う。

# 基礎教育棟



## 医学部教員男女別人数(平成27年度～平成30年度)

平成27年4月1日

所 属	現員	現員の内訳				
		教授	准教授	講師	助教	
医学部		<b>313</b>	<b>44</b>	<b>42</b>	<b>89</b>	<b>138</b>
	男	269	43	38	78	110
	女	44	1	4	11	28

女性の比率 14.1%

平成28年4月1日

所 属	現員	現員の内訳				
		教授	准教授	講師	助教	
医学部		<b>336</b>	<b>47</b>	<b>47</b>	<b>86</b>	<b>156</b>
	男	285	46	39	75	125
	女	51	1	8	11	31

女性の比率 15.2%

平成29年4月1日

所 属	現員	現員の内訳				
		教授	准教授	講師	助教	
医学部		<b>335</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>92</b>	<b>147</b>
	男	280	46	40	79	115
	女	55	2	8	13	32

女性の比率 16.4%

平成30年4月1日

所 属	現員	現員の内訳				
		教授	准教授	講師	助教	
医学部		<b>337</b>	<b>46</b>	<b>51</b>	<b>88</b>	<b>152</b>
	男	286	44	43	75	124
	女	51	2	8	13	28

女性の比率 15.1%

## 和歌山県立医科大学教員選考規程

制 定 昭和47年1月25日和医大規程第 1 号  
最終改正 平成27年6月 5 日和医大規程第 23 号

## (趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における教授、准教授、専任の講師、及び助教（以下「教員」という。）の選考について必要な事項を定めるものとする。

## (選考)

第2条 教員の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

- (1) 教員が定年又は任期満了により退職し、後任を採用する必要があるとき。
- (2) 教員からの退職の申出を理事長が受理し、後任を採用する必要があるとき。
- (3) 教員の増員又は上位職への振替えの必要があるとき。
- (4) その他教員が欠員となり後任を採用する必要があるとき。

## (教授の資格)

第3条 教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
- (4) 大学において教授の経歴のある者
- (5) 大学において准教授の経歴があり、教育研究上の業績があると認められる者
- (6) 芸術、体育等について、特殊の技能に秀で、教育の経歴がある者
- (7) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

## (准教授の資格)

第4条 准教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 前条に規定する教授となることができる者
- (2) 大学において准教授又は専任の講師の経歴がある者
- (3) 大学において3年以上助教又はこれに準ずる職員としての経歴がある者
- (4) 修士の学位又は学位規則第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (5) 研究所、試験所、調査所等に5年以上在職し、研究上の業績があると認められる者
- (6) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

## (専任の講師の資格)

第5条 専任の講師となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第3条又は前条に規定する教授又は准教授となることができる者
- (2) その他特殊な専攻分野について、教育研究上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

第6条 助教となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 第3条各号又は第4条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修業年限を6年又は4年とする大学を卒業した者で、専攻分野について、十分な知識及び経験を有すると認められる者

(選考の方法)

第7条 教員の選考方法については、教育研究審議会において別に定める。

(規程の改正)

第8条 この規程の改正は、教育研究審議会の審議を経て学長が行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年1月25日から施行する。
- 2 和歌山県立医科大学教員選考基準に関する規程（昭和24年和歌山県立医科大学規程第27号）は、廃止する。

附 則（平成16年4月1日和医大規程第78号）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日和医大規程第83号）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年6月23日和医大規程第29号）

- 1 この規程は、平成21年6月23日から施行する。
- 2 保健看護学部については、当分の間、第6条各号に定めるもののほか、修業年限を3年とする大学等を卒業した者で、専攻分野について十分な知識と経験を有すると認められる者を助教の資格とすることができる。

附 則

この規程は平成27年6月5日から施行し、改正後の和歌山県立医科大学教員選考規程の規定は、同年4月1日から適用する。

[受験生の方へ](#)[在学生の方へ](#)[卒業生の方へ](#)[企業・研究機関の方へ](#)[地域・一般の方へ](#)[大学案内](#)[学部・大学院等](#)[入試・入学案内](#)[図書館・関連施設](#)[研究・産官学連携](#)[附属病院](#)[ホーム](#) > [図書館・関連施設](#) > [ワークライフバランス支援センター](#)

## ワークライフバランス支援センター



和歌山県立医科大学

ワークライフバランス  
支援センター

### センター長あいさつ



近年、女性の医療従事者が増加し、結婚を契機にこれまでの仕事と出産・育児の両立が難しくなったり、また男性・女性を問わず、高齢者社会の中で家族の介護等で多忙な医療職を継続することが困難になったりする場合もあります。

仕事とこれらの状況を両立させるための職場環境の体制整備が十分でないと、大学病院等の第一線の職場を離職せざるを得ないケースも珍しくなく、このことは深刻な医療従事者不足の要因になるばかりでなく、何よりも個々のキャリア形成の妨げとなり、専門職としての能力を発揮できないことに繋がります。

これらを根本的に解消するため、これまで本学にあった女性医療人支援センターをさらに発展的に拡大し、2017年4月よりワークライフバランス支援センターが設置されました。

センターでは、本学のすべての職員を対象にワークライフバランス(仕事と生活の調和)の支援を行っていきます。具体的には、職員の出産・育児・介護等と仕事の両立支援および職場復帰支援、女性医師のキャリア継続支援、院内託児施設の充実・学童保育等の実施、多様な就労条件の提供、相談窓口の設置などを通じて、男性・女性を問わず、すべての職員が気持ちよく前向きに働き続けられるような職場環境の構築を目指し、継続的なキャリアアップが実現するよう支援していきたいと思っております。今後とも、当センターの取組にご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ワークライフバランス支援センター

センター長 井篁 一彦

### センターについて

平成29年4月から女性医療人支援センターが「ワークライフバランス支援センター」にリニューアルしました。

本学の職員のみならず、ひとりひとりがいきいきと働き充実した生活を送れる「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)実現を支援することができるよう『奏でよう!ワークとライフのハーモニー♪』をコンセプトに、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

### スタッフ紹介

センター長	井篁 一彦	和歌山県立医科大学産科・婦人科学講座 教授(兼任)
-------	-------	---------------------------

副センター長	島 友子	和歌山県立医科大学小児科学講座 講師 (兼任)
事務長	森澤 祐己子	ワークライフバランス支援センター (専従)
センター教員	直川 里香	和歌山県立医科大学麻酔科学講座 助教 (兼任)
	上田 美奈	和歌山県立医科大学小児科学講座 助教 (兼任)
	山本 円	和歌山県立医科大学総合周産期母子医療センター 助教 (兼任)
事務員	角田 のど佳	ワークライフバランス支援センター (専従)

## 出産・育児両立サポートについて 介護両立サポートについて

本学では、職員の皆さんが出産や育児および介護と仕事を両立するために必要な各種の休暇・休業等の制度を用意しています。

### 出産・育児をサポートする制度

※職員の方は「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください。

1. 妊娠中の通勤緩和
2. つわり休暇
3. 妊娠・産後の保健指導等
4. 産前産後休暇
5. 妻の出産
6. 男性職員の育児参加
7. 育児時間休暇
8. 育児休業
9. 育児短時間勤務
10. 育児のための早出遅出勤務
11. 育児部分休業
12. 時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限
13. 子の看護休暇

### 附属病院託児施設：クレヨン保育園

詳しくは、「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください。

### 介護をサポートする制度

※職員の方は「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください。

1. 短期介護休暇
2. 介護休暇
3. 介護のための早出遅出勤務
4. 時間外勤務の制限
5. 時間外勤務の免除
6. 深夜勤務の制限

## 復職支援について

準備中

## 平成29年度 FD研修会

医 学 部	
第1回	<p>テーマ：入試改革・高大接続等</p> <p>講師：株式会社 駿台教育研究所 進学情報事業部 部長 石原 賢一</p> <p>日時：平成29年10月6日(金) 17:30から</p> <p>場所：基礎教育棟 3階 講義室2</p>
第2回	<p>テーマ：甲状腺疾患における解剖学と分子診断との統合</p> <p>講師：バーモント大学 医学部病理学科准教授 スコット・アンダーソン 氏</p> <p>日時：平成29年12月6日(水) 17:00から</p> <p>場所：図書館棟 3階 研修室</p>
第4回	<p>テーマ：本年度卒業試験の概要について</p> <p>講師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 氏</p> <p>日時：平成30年3月26日(月) 18:00から</p> <p>場所：基礎教育棟 3階 講義室2</p>



H30.4.9津波避難経路確認

津波避難場所(NTT社宅)



## スキルラボ職員 名簿

平成30年5月1日現在

氏名	職名	
〇〇 〇〇	看護師	1名
□□ □□	臨時職員	1名

学内ページ

学内リンク

職員相談・公益通報

入札関係

規程集

# その他

和歌山県立医科大学の学内ページです。(学内LANからのアクセスのみ参照が可能です。)

人事・給与関係

広報関係

ワークライフバランス

研究支援

学内LAN関係

(インターネット、メール、  
ウイルス対策、ホームページ)

医療情報システム

各申請書等様式

大学評価関係

医学教育分野別評価関係

病院機能評価関係

薬学部設置関係

その他

## ■ 高度医療人育成センター5階 研修室の予約

- 予約・使用上の注意 [☞](#)
- 予約表 [☞](#)
- 予約方法説明 [☞](#)
- 申請書 [☞](#)

## ■ 国際交流センターからのお知らせ

「オーストラリア政府による奨学金『エンデバー奨学金』」について

- 募集要項 [☞](#)

「ストックホルム国際青年科学セミナーの募集」について

- 募集要項 [☞](#)

「アメリカ留学EXPO2018」について

- 募集要項 [☞](#)

「フランス政府給費留学生」について

- 募集要項 [☞](#)

## ■ Eラーニングシステム

- Eラーニングシステム (インターネット・ナビウェア)

## 基礎教授懇談会議事録

日時：平成30年5月30日（水）17:00～

場所：基礎教育棟 非常勤講師控室

出席：山田学生部長、森川教授、金桶教授、中田教授、岸岡教授、村垣教授、西尾教授、竹下教授、近藤教授、改正教授、吉益准教授、山本講師、井内助教、  
村田教育研究開発センター長、塩崎学生課長、野崎副課長、薬科教務班長、塩谷

## 議題1 基礎配属報告会について

提示案について村田教育研究開発センター長から説明があり、以下の通り意見があった。

## ○ テーマ数

現状のテーマ数は45～47。これを発表演題数と想定して、1テーマ辺り8分程度で設定する。

テーマ数は増やすことは不可だが、研究の進捗状況により統合・集約していくことは可能。

## ○ 成果物

従来の報告書に代わって、今年度からは抄録と発表スライドを成果物とする。

## ○ 基礎配属終了後のフォローアップ

基礎配属終了後も研究を続けて成果を出すような学生を奨励するような仕組みを今後考えていく。

## ○ 留年生の参加

2年生として聴講参加する。抄録に名前を掲載したり、表彰の対象となるような発表者としての参加は認めない。

上記意見を踏まえて、最終はカリキュラム部会で内容を検討する。

## 議題2 学生実習費及び理科教育備品費の配分について

提示案について、事務局から説明し、以下のとおりとなった。

## ○ 学生実習費

提示案どおり了承

## ○ 理科教育備品費

提示案どおり了承

次年度は、新任教授が着任する所属が多い予定なので、そこに配分できるよう、顕微鏡の更新費用を見送るなども考慮して協議する。(特に衛生学は配分を辞退した経緯等もあり優先度が高い)

## その他

村田教育研究開発センター長から基礎配属の評価様式について説明。

次の試験期間を目処に、簡易版研究能力評価表を用いて評価を行い、学生へのフィードバック及び教育研究開発センターへの情報提供をすることとなった。

## 基礎配属報告会について

## ■ 実施日等

日 時：平成31年1月18日（金） 1～5限

場 所：講堂

対 象：3年生、2年生 全員

発表時間：45テーマ※ × @8分（質疑応答込） = 360分

※ テーマ数照会結果 全19所属で計45テーマ程度

☆発表時間以外の時間を50分（終了は17時過ぎを予定）

発表形式：全グループが口演発表

※ポスター発表はなし。

座 長：持ち回り（H30は病理学+1所属）

※時間割等全体をコーディネート・調整する。

## ■ 抄録作成

提出物：別添様式

提出形式：PDF データで12月中旬までに提出

（データのタイトルは、所属、演題名）

配付方法：事前にPDF配付（学内向けホームページからダウンロード）

## ■ 評価

評 価 者：基礎配属の指導教員（各所属から1名） 19名

教育研究開発センター長

学生 発表グループ単位で採点※

※45グループ（ただし、自グループ発表時には採点に加わらない。）

採点方法：案①5点満点で評価。発表が終わるごとに採点・集計

案②全ての発表終了後、最も優れたグループ名を投票・集計

評価方法：一定の基準を設けるか、評価者の裁量に委ねるか。

## ■ 表彰（インセンティブ）

最優秀賞 1グループ

賞状 副賞（図書券5万円/グループ）

優秀賞 1グループ

賞状 副賞（図書券3万円/グループ）

審査員特別賞 1グループ

賞状 副賞（図書券2万円/グループ）

## ■ 成果物

報告書は従来の形で続ける。（次年度9月頃提出締切）

## ■ 留年生の参加

参加可能。抄録に名前を記載、表彰の対象とする。



教育職員



教育研究開発センターを兼務させる

平成30年 4月 1日

公立大学法人和歌山県立医科大学

理事長

宮下和久



# Certificate for Medical Clerkship

After having passed the premedical examination the medical student

(Name) .....

Born on ..... in .....

Has performed a medical clerkship in the following field(s):

1. .... Emergency and Critical Care Medicine .....

2. .... Surgery I (Thoracic and Cardiovascular) .....

The uninterrupted clerkship was between Apr 6, 2016 ..... and  
... Apr. 28, 2016 .....

811-1 Kimidara, Wakayama city, Japan ..... Location

..... May 19, 2016 ..... Date

Wakayama Medical University

(Name of Institution)

Official seal

For Surgery I

For Emergency and Critical Care Medicine

*Yoshitaka Okamura*

*Sayo Kudo*

Signature of training physician

## 情報基盤センター検討ワーキング（第4回）

日時：平成30年2月7日（水） 18:30～19:30

場所：管理棟2階 特別会議室

### 次 第

1 情報基盤センターに関する検討結果について

2 その他



情報基盤センター検討ワーキングメンバー

氏名	所属	役職
井原 義人	生化学講座	教授（学生部長）
近藤 稔和	法医学講座	教授（図書館長）
下川 敏雄	臨床研究センター	教授（副センター長）
中尾 直之	脳神経外科学講座	教授（副院長）
牧野 誠司	教養・医学教育大講座	教授
増田 匡裕	保健看護学部	教授
水本 一弘	医療安全推進部	病院教授（部長）
村田 顕也	教育研究開発センター	教授（センター長）
入江 真行	医学医療情報研究部	病院教授（医療情報部長）
新谷 幹雄	事務局	次長
川上 守	紀北分院	分院長（副院長）
田島 文博	みらい医療推進センター	教授（センター長）
島 佳弘	学生代表メンバー	学生自治会長

## 情報基盤センターについての検討まとめ

### ● 組織について

名 称	名称を「和歌山県立医科大学情報基盤センター」とする。
業 務	大学内ネットワークの運用管理を始めとする学内の情報関係業務を統括し、別紙の業務を行う。 なお、病院医療情報システムの運用管理は引き続き医療情報部が行う。
人員体制	技術職員、事務職員及び情報関係教員が所属する。教員の内1名を専任とすることを要望する。 なお、大学内ネットワークの管理は外部に委託し、トラブルへの迅速な対応を行う。

### ● 今後検討すべき事項

区 分	WG	事 項
全 般	1	クラウドの積極的な利用
	3	病院情報との連携
基 盤	3	ネットワークの強化 (トラフィックの軽減、外部へのVPN接続環境整備)
	1	講義利用等のために外部に問題なく接続できるネット環境の整備
	2	ゲスト用Wi-Fi環境の整備 (講堂、大研修室等)
	1	学生Wi-Fiの拡充 (利用者アンケート調査)
教 育	3	情報専門教員を配置 (1名) し、情報教育に対応
	1	入試制度の情報化への対応
	1	成績管理を行う部署の検討
	3	教学IR担当部署 (データ分析を行う部署) の検討
	1	電子カードを使った出席管理
システム	1	e-learningシステムの改善 (統合、大学外・病院外からの利用環境提供)
	3	グループウェア (施設予約機能など) の導入検討
	3	ホームページについてワードプレスの導入検討

情報基盤センター業務について（事務局案）

業 務		担当部署等	説 明	業務割合	技術職員	事務職員	教 員
教 育	情報教育	各学部講義	3学部の情報教育を行う 定期的な研修の実施	0.15			◎
	情報リテラシー、セキュリティ教育・研修	学生対象 教職員対象					
シ ス テ ム	CBT	情報基盤センター（所属教員）	情報基盤センターが運営に協力し、 所属教員がサイトマネージャーを務める	0.20	◎	◎	◎
		教育研究開発センター、学生課、 情報基盤センター（所属教員含む）			情報基盤センターとの事前協議 一元管理によるシステムの有効活用	◎	◎
	大学業務の情報化支援	情報基盤センター	IT機器導入時のサポート・保守契約 各所属情報システム担当者の教育	0.50	◎	◎	◎
	PC等機器設定支援				◎	◎	◎
	学内LAN	更新検討 運用管理 利用者支援			◎	◎	◎
	電子メールシステム				◎	◎	◎
	ホームページ	情報基盤センター			◎	◎	◎
	eラーニングシステム				◎	◎	◎
	ペーパーレス会議システム	更新検討 運用管理 利用者支援			◎	◎	◎
	端末管理				◎	◎	◎
図書館情報システム	蔵書管理 ジャーナル ホームページ	図書館／情報基盤センター	従来どおり運用は各課が行う（※） 端末保守の外注 全キャンパスで共通の環境の整備	0.05	◎	◎	◎
人事給与システム	総務課／情報基盤センター	総務課／情報基盤センター	従来どおり運用は各課が行う（※） 情報基盤センターによるシステム導入支援、運用の助言	0.10	◎	◎	◎
旅費計算システム					◎	◎	◎
財務会計システム	経営企画課／情報基盤センター	経営企画課／情報基盤センター	クラウド化の検討 など		◎	◎	◎
入札システム					◎	◎	◎
大学院講義の動画配信	学生課／情報基盤センター	学生課／情報基盤センター			◎	◎	◎
研究者情報データベース					◎	◎	◎
教務・学務システム（予定）	学生課／情報基盤センター	学生課／情報基盤センター			◎	◎	◎
教学ITシステム（将来、担当部署を検討）					◎	◎	◎
	情報基盤センター	情報基盤センター	3学部の教育データを一元的に管理し、継続的に評価する		◎	◎	◎

※ 図書館情報システムの、システムの更新・管理業務は情報基盤センターが直接行う。

## 紀北分院（総合診療科）

### I. 目 標

#### A. 一般教育目標

臨床実習の総まとめとして実臨床における医師として責任感、積極性、学習意欲を涵養し、診療に必要な思考力、問題解決能力、チーム医療を統括する能力の習得に努める。特に実習を通じて病歴と身体診察が臨床の基本であることの大切さを知り、臨床推論能力を身につける。

#### B. 個別行動目標

- (1) 医療面接・身体診察ができる。
- (2) 検査計画を立てて、結果解釈ができ、丁寧に説明ができる。
- (3) 治療計画が立てられ、遂行できる。
- (4) 症例提示を行え、上級医とディスカッションできる。
- (5) コメディカルとの協働、医療介護連携について理解できる。
- (6) 症例の問題解決のために必要な情報、論文を収集し、解釈できる。

### II. 指導医師

教授（佐々木秀行）、講師（上谷光作、田中寛人）、  
学内助教（栗栖清悟、山根木美香）  
医大本院教授（加藤正哉、上野雅巳）、  
その他すべての診療スタッフ

### III. 実習内容

- (1) 診療スタッフの一員となって担当入院患者の診療に参加する（単なる見学ではない）。研修医に近い形で診療に参加する。
- (2) 実担当の医師から直接指導を受ける。
- (3) 臨床実習用のカルテに医療面接、身体診察の記載、検査計画や治療計画などを記載する。実臨床の経過も踏まえて、結果の評価などを記載する。それをもとにコメディカルスタッフも交えた症例検討会などでプレゼンテーションを行う。
- (4) スタッフが行っている抄読会や画像カンファレンスなどにも参加する。

### IV. 評 価

実習内容の最終的な記載カルテとプレゼンテーションにより総合的に評価する。



ホーム > 外来受診のご案内 > 診療スケジュール

診療スケジュール(外来診察医担当表)

2018年4月1日現在

当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。  
担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

総合診療

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
内科予約 2診		[内科](糖尿) 栗栖 清悟	[内科](糖尿病) 水越 正人			[内科](肝臓) 佐藤 博明				[内科] 栗栖 清悟
内科予約 3診	[内科](糖尿) 応援医師		[内科](呼吸器) 杉本 武哉		[内科](糖尿) 栗栖 清悟		[内科](神経内 科) 廣西 昌也			
内科予約 4診	[内科](循環器) 松尾 好記			[内科](糖尿) 栗栖 清悟	[内科] (循環器) 山本 勝廣				[内科](循環器) 小林 克暢	
内科新患 5診	[内科] 白井 聖一		[内科] 廣西 昌也		[内科] 杉本 武哉		[内科] 中西 一郎		[内科] 松尾 好記	
外科診	[外科] 櫻井 照久		[外科] 櫻井 照久		[外科] 鈴木 孝臣 (第2週) [外科] 佐々木 恵里 (不定期)	[外科] 櫻井 照久 (不定期)		[外科]櫻井 照久		

脊椎ケアセンター

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
第6診察室	[脳神経外科] 大岩 美嗣		[神経内科] 中西 一郎		[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 大岩 美嗣	応援医師	[脳神経外科] 上野 雅巳 (第1週)	[脳神経外科] 大岩 美嗣
第7診察室	[センター長] 川上 守		[センター長] 川上 守		[整形外科] 中川 幸洋		[整形外科] 米良 好正		[センター長] 川上 守	
第8診察室	[整形外科] 龍谷 良平		[整形外科] 寺口 真年		[整形外科] 寺口 真年		[整形外科] 龍谷 良平		[整形外科] 中川 幸洋	
リハビリテーショ ン科	岡谷 政		岡谷 政		岡谷 政		岡谷 政		岡谷 政	

眼科/小児科

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
眼科	泉谷 愛	溝口 晋	石川 伸之	雑賀 司珠也 (第1週) 岡田 由香 (第3週) (眼科新患も含む)	二出川 裕香	こども外来 泉谷 愛 (斜視も診てい ます)		溝口 晋	石川 伸之	術前外来 (泉谷・溝口・ 二出川)
小児科	戸川 寛子	予防接種	泉谷・溝口 (隔週交代) 樋口 隆造	二出川 裕香	黄斑外来 (石川)			泉谷 愛	黄斑外来 (溝口)	戸川 寛子

平成 年 月 日

教育研究開発センター長 様  
(学生課扱い)

授業評価に係る改善計画等について (回答)

**実 習**

○ 担当科目 : \_\_\_\_\_

○ 担当教室 : \_\_\_\_\_

※ 評点が低い項目や前回と比して著しく低い項目がある場合、該当項目欄に「改善計画」を御記入願います。

※ 「全般」欄には評点に関係なく、すべての所属において「目標等」を御記入願います。

全 般	全体を通して (下記項目以外)
改善計画・ 目標等	
質問項目 1	実験・実習の必要性や位置づけが明確でしたか?
改善計画等	
質問項目 2	実験・実習内容の分量は適切でしたか?
改善計画等	
質問項目 3	実験・実習のレベルは適切でしたか?
改善計画等	
質問項目 4	実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容でしたか?
改善計画等	
質問項目 5	この実験・実習で学んだことは今後役に立つと思いましたか?
改善計画等	
質問項目 6	教員の熱意や意欲を感じましたか?
改善計画等	
質問項目 7	説明の仕方はわかりやすかったですか?
改善計画等	

質問項目 8	実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切でしたか？
改善計画等	
質問項目 9	実験・実習に必要な設備・器具は整っていましたか？
改善計画等	
質問項目 10	実験・実習上の注意事項について十分な説明がありましたか？
改善計画等	
質問項目 11	学生からの質問に対して適切な指導がありましたか？
改善計画等	
質問項目 12	提出したレポート・スケッチに対する指導は十分でしたか？
改善計画等	
質問項目 13	実験・実習を受講するうえで、実習テキスト（プリント含む）は役に立ちましたか？
改善計画等	

## ○ 学生による授業評価について

教育内容の充実や教授法の改善に役立てるため、学生による授業評価を実施する。担当教員の授業について学生側からの評価をアンケート方式により行う。

1. 評価対象  
3コマ以上の講義を担当する教員（教授、准教授、講師、非常勤講師、助教）
2. 評価項目  
下記「授業評価アンケート」参照
3. 実施方法・時期  
担当教員の最終授業の終了後及び実習、試験の終了後  
アンケート用紙の配布・回収・集計等については別途定める。
4. 活用方法  
授業担当教員へ評価をフィードバックして、次年度以降の授業の改善に役立てる。
5. 通知・閲覧・公表  
学生課において、集計結果を保管するとともに、集計終了後、速やかに担当教員に通知する。  
授業評価については、医学部長、学生部長、入試教育センター長、教育研究開発センター長が総括を行い、公表する。全教員の個別の結果は学内ホームページに掲載する。
6. その他  
各教員の講義に関する評価の他、実習（臨床実習を含む）及び試験についても評価する。  
教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力又は記入すること。

※評価アンケートの実施方法・内容については、教育研究開発センター教育評価部会において検討し、改訂することがある。

## 授業評価アンケート

教科 \_\_\_\_\_

担当教員氏名 \_\_\_\_\_

設問1～5について当てはまるところにをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- |   |                            |                            |                            |                            |                            |
|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 授業の開始時間に対し散漫で無く、授業内容に<br>対しての時間配分は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 授業の構成、内容は十分準備されていた。                       | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 授業は分かりやすかった。                              | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 授業の内容に興味を持つことができた。                        | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 授業の内容が教育要項に準拠していた。                        | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 その他、意見があれば自由に記載してください。                    |                            |                            |                            |                            |                            |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。  
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。



## 実験・実習評価アンケート

実習科目名 \_\_\_\_\_

設問 1～17については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 実験・実習の必要性や位置づけが明確であった。                                      | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 2 実験・実習内容の分量は適切であった。  | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 3 実験・実習のレベルは適切であった。   | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 4 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容であった。                                 | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 5 この実験・実習で学んだことは今後役に立つ。                                       | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 6 教員の熱意や意欲を感じた。   | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 7 説明の仕方は分かりやすかった。   | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 8 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切であった。                               | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 9 実験・実習に必要な設備・器具は整っていた。                                       | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 10 実験・実習上の注意事項について十分な説明があった。                                  | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 11 学生からの質問に対して適切な指導があった。                                      | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 12 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分であった。                                | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 13 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト（プリント含む）は役に立った。                        | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 14 この実験・実習に積極的に参加できた。   | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 15 原理や操作手順を十分に理解して実験・実習に臨むことができた。                             | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 16 レポート・スケッチを自分自身で作成できた。                                      | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 17 実験・実習の内容を理解できた。  | ①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐ |
| 18 この実験・実習について、改善してもらいたい点を含め、長所・短所等を自由に記載（マークシート裏面に記載）してください。 |                |

**※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず記入してください。**  
**※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。**

## 臨床実習評価アンケート

### 診療科

設問1～16については当てはまるところに☑をしてください。

#### A. 指導医について

(まったく思わない←-----→とても思う)

- |   |                               |   |   |   |   |   |
|---|-------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 指導医と討論する時間が充分にあった。            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 親切に接してくれた。                    | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | 問題点を見つけるよう適切に指導してくれた。         | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 4 | 時間を厳守するよう適切に指導してくれた。          | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 5 | 実習中の最終目標を明確に示してくれた。           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 6 | 毎日の目標を示してくれた。                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 7 | 医学的知識について適切に指導してくれた。          | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 8 | 医学的技能について適切に指導してくれた。          | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 9 | 知識・技能について誤りがあった場合、注意や指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

#### B. セミナーについて (行われなかった場合は記入不要です。)

- |    |                       |   |   |   |   |   |
|----|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 10 | よく準備された教材を使用した。       | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 11 | 病態との関連について適切に説明してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

#### C. 自己評価

- |    |                      |   |   |   |   |   |
|----|----------------------|---|---|---|---|---|
| 12 | 知識が増えた。              | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 13 | 基本的技能ができるようになった。     | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 14 | 診断・治療の選択が可能になった。     | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 15 | 症例の提示(発表)ができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

#### D. 臨床実習の総合的評価

(悪い←-----→良い)

- |    |                        |   |   |   |   |   |
|----|------------------------|---|---|---|---|---|
| 16 | 臨床実習を総合的に評価してください。     | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 17 | その他、意見があれば自由に記載してください。 |   |   |   |   |   |

**※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。  
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。**

## 試験評価アンケート

### 教科

設問1～2については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- |   |                         |   |   |   |   |   |
|---|-------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 試験の内容は講義内容(教育要項)に即していた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 試験時間は適正であった。            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | その他、意見があれば自由に記載してください。  |   |   |   |   |   |

**※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず提出してください。  
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。**

【6】わかやまヘルスプロモーション研究と弘前大学COIとのデータ連携に関する記者発表及び講演会の開催について

竹下教授から、下記のとおり記者発表と講演会を開催する旨報告と参加依頼があった。

- ・記者発表 日 時：平成30年4月18日（水）13:00～13:45  
開催場所：管理棟 2階 特別会議室  
発表者：宮下 和久 理事長・学長 竹下 達也 教授 有田 幹雄 名誉教授  
弘前大学大学院医学研究科 特任教授 中路 重之 氏  
弘前大学 副理事・教授 村下 公一 氏
- ・講演会 日 時：平成30年4月18日（水）14:00～16:00  
開催場所：病院棟 4階 臨床講堂Ⅱ  
講師：弘前大学大学院医学研究科 特任教授 中路 重之 氏  
演 題：「地域の健康づくりは可能なのか」青森の短命県返上活動より

【7】理事会報告について

幸前副理事長から、3月20日（火）の理事会における議決事項、協議事項及び報告事項について、報告があった。

その他

- ・平成30年度医学部教授会幹事・広報委員・選考会議広報委員の指名について  
村垣医学部長から、教授就任の順番という慣例により、平成30年度の幹事に西尾教授と川上教授、広報委員に改正教授と加藤教授、選考会議広報委員に森川教授、伊東教授がそれぞれ指名された。
- ・平成29年度医学部教授会決算報告について  
前年度幹事の牧野教授から、平成29年度医学部教授会決算について、適正に処理されている旨報告があった。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度卒業試験について<br/>村田（頭）教授から、平成30年度の卒業試験の内容及び実施日程等について説明があった。</li></ul> |
|--|

## 開催した部会一覧

### 入試制度検討部会

第1回

開催日時：平成28年6月30日（火）

- 議 事： 1. 平成28年度入試について  
2. 高大接続について

### 教育評価部会

第1回

開催日時：平成28年10月11日（火）

- 議 事： 1. 第1回卒業試験の合否判定について  
2. ベストティーチャー賞の推薦について  
3. 平成29年度卒業試験について  
4. 試験の遅刻者に対する扱いについて

第2回

開催日時：平成28年11月8日（火）

- 議 事： 1. 進級、卒業判定について  
2. 第2回卒業試験の合否判定について

第3回

開催日時：平成28年12月13日（火）

- 議 事： 試験評価について

### カリキュラム専門部会

第1回

開催日時：平成28年6月20日（月）

- 議 事： 1. 教育研究開発センター（カリキュラム部会）の本年度計画について  
2. 平成29年度臨床実習案について

第2回

開催日時：平成28年8月30日（火）

議 事：平成29年度カリキュラムについて

第3回

開催日時：平成28年12月13日（火）

議 事：平成29年度カリキュラムについて

**自己評価委員会**

開催日時：平成29年3月14日（火）

議 事：平成27年度事業実績報告について

**FD部会**

開催日時：平成28年7月7日（木）

議 事：事業（開催）計画について

**医学教育分野別評価部会**

第1回

開催日時：平成29年2月8日（水）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について

第2回

開催日時：平成29年3月8日（水）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について



部会・委員会

教育評価部会

入試制度検討部会

カリキュラム専門部会

臨床技能教育部会

FD部会

和歌山SPの会

部会・委員会

HOME>部会・委員会



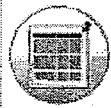
教育評価部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 規程・運営要項



入試制度検討部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 規程・運営要項



カリキュラム専門部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 教育要項
- » 規程・運営要項
- » カリキュラムの変更点



臨床技能教育部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » OSCE部会
- » CBT部会
- » 規程・運営要項



FD部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 規程・運営要項



和歌山SPの会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » SPの会ご出欠連絡フォーム

▲←TOP→▲